

令和3年度

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団
事業報告

自 令和3年4月 1日

至 令和4年3月31日

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団

目 次

I	令和3年度の取組	1
II	令和3年度目黒区文化ホール事業報告	6
	第1 自主事業	6
	第2 受託事業	4 2
	第3 その他事業	5 3
III	令和3年度目黒区美術館事業報告	5 9
	第1 自主事業	5 9
	第2 受託事業	6 9
	第3 その他事業	7 6
IV	処務の概要	
	1 重要な契約の概要	8 3
	2 財団運営会議の開催状況	8 3
	3 理事会及び評議員会の開催状況	8 4
	4 評議員、理事及び監事名簿	8 5

I 令和3年度の取組

目黒区芸術文化振興財団は、定款の目的に掲げる「目黒区における芸術文化の振興を図り、もって地域社会の発展向上に寄与する」の実現に向けて様々な舞台芸術及び美術に関する事業を推進してきました。

また、目黒区の芸術文化の拠点となる目黒区文化ホール（以下「文化ホール」という。）及び目黒区美術館（以下「美術館」という。）の指定管理者として、施設の安全確保と利用者の利便性向上に努めてまいりました。

令和3年度は、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部事業の中止や開館時間の短縮、利用人数の制限、会期の変更等を余儀なくされましたが、当財団に課された役割を果たすべく、国、東京都、目黒区及び業界団体が策定するガイドラインなどを遵守し、感染症対策を徹底したうえで、施設利用者や公演主催者等の理解のもとに様々な事業を実施いたしました。

さらに、新たな日常を踏まえ、多くの区民の皆様に様々な鑑賞や参加の機会を提供できるよう、文化ホールと美術館を拠点にインターネットを活用した映像等の配信やワークショップの実施、SNSを活用した情報発信などにも積極的に取り組みました。

一方、財務面では、他団体助成金などの積極的な獲得や事業の執行方法の工夫等により効率的な運営に努めましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により財団の基幹的収入である施設利用料金収入は例年よりも減少しており、財政基盤の更なる強化が必要です。

今後も時代の要請に的確に応えるとともに、地域との連携を図りながら、区民一人ひとりが心豊かに暮らしていけるよう、職員一丸となって魅力ある多様な芸術文化活動を展開し、目黒区の目指す「文化縁」の充実と芸術文化の振興・発展に貢献できるよう努めてまいります。

1 目黒区文化ホール

令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響で一部の事業を変更・中止としたことから、3年度は自主事業30事業、区からの受託事業3事業及び指定管理事業1事業の実施となりました。

事業の実施に当たっては、ホールのガイドライン等に基づき感染症対策を徹底し、利用者や来場者が安全で安心して利用できるよう取組を進めました。

また、鑑賞・体験・参加の機会の充実のため、コンサートのオンライン配信やオンラインレクチャーの実施、SNSを活用した情報発信等に積極的に取り組むとともに、芸術文化に直接触れる喜びや感動を味わえる機会、自らが参加し表現する場の提供など、多様な事業を展開してまいりました。

(1) 鑑賞事業

ジャンルが偏らないことなどに留意し、幅広い年代の区民に向けて良質な公演の鑑賞機会を提供することを目指し、主催事業4事業（1事業中止）、共催事業8事業（2事業中止）を実施しました。主催事業は次のとおりです。

ア フレッシュ名曲コンサート

若手演奏家をソリストとして起用するオーケストラ公演。感染症の影響により公演日直前に出演者が変更となり、代役を立てて実施しました。

なお、公演の様子はオンラインでライブ及びアーカイブ配信しました。

イ ミュージアムコンサート

目黒区美術館「木村伊兵衛と画家たちの見たパリ 色とりどり」展の関連企画。美術館のワークショップ室で開催した20世紀前半にパリで人気を博したマヌーシュ・ジャズのコンサート

ウ ジャズコンサート

実力と知名度を兼ね備えたアーティスト3名によるコンサート

エ 新春落語二人会

ホールで初めての講談を配した番組構成の落語会

このほか、多彩な活動を行っている主催者と協力した共催事業を実施しました。

(2) 地域の芸術文化・支援事業

豊かで創造性のある区民文化の醸成と魅力ある地域づくりを目指して、地域に根差した事業の展開を図りました。主催事業は次のとおりです。

ア 未来の音シリーズ vol. 33・vol. 34

新進気鋭の演奏家を支援し、区民に紹介するクラシックコンサート

イ 第10回めぐろパーシモンホール避難訓練コンサート

避難訓練コンサートとして初めて小ホールで実施しました。

このほか、地域で優れた芸術文化活動を行う団体への支援の一つである共催事業は、13事業（2事業中止）を実施しました。

(3) 体験・普及事業

区の補助金のほか、他団体の助成金や財団自らの財源も充てた次の3事業を実施しました。

ア 子どものためのワークショップ

小学生対象の「ダンス」コースと、中学生と高校生を対象とした「演劇&ダンス」コースを実施し、実演芸術に親しみ、自ら表現し創造性を育む機会を提供しました。

イ 大人の演劇ワークショップ

2年度の参加者が創作した物語を、3年度の参加者が演劇作品として創作し発表しました。

ウ アウトリーチプログラム

コロナ禍でさらに鑑賞機会が減った子どもたちの身近な場所である学校などに様々なジャンルのアーティストとともに赴き、生の演奏を間近で聴き、プロのアーティストと交流する機会を提供しました。

(4) 受託事業・指定管理事業

ア 目黒区文化祭

春の部は中止になりましたが、秋の部は7公演実施しました。

イ めぐるオートムアート

美術館と連携し、音楽と美術のワークショップとミュージアムコンサートを開催しました。

ウ 東日本大震災復興支援コンサート

震災の記憶を継承し、復興を願うことを目的に、3年ぶりに大ホールで開催しました。また、気仙沼市物産展や震災復興写真展等を併せて実施しました。

エ めぐるで第九2020+1

区民と東京音楽大学の学生による合唱団を結成し、感染症対策を十分に講じ、オンラインも活用しながら計22回の練習を経て実施しました。

(5) 貸館事業

新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、会場での抽選会を行わず、メールや郵送等での事前申込制による抽選を実施するなど、利用者が安全・安心して施設を利用していただけよう、ホールのガイドラインを適宜更新し対応しました。

各施設の年間利用率は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部施設の利用制限がされた中、大ホールは79.3%、小ホールは77.4%、中目黒GTプラザホールは73.4%、諸室は67.8%となるなど、ホールの利用率は2年度に比べいずれも25ポイント以上増加しました。

また、日常点検や定期的な保守点検を通じて安全確保を図りながら、施設の適切な運営と管理に努めました。

2 目黒区美術館

令和3年度は、展覧会事業6展を中心にワークショップなどの教育普及事業を進めましたが、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響で一部の事業が変更や中止になりました。

こうした中でも、臨機応変に展覧会会期を変更したほか、コロナ禍に対応したオンラインワークショップ、動画配信等の実施により、美術館に求められる役割を果たすことに努めました。

(1) 展覧会事業

ア 自主事業展覧会（3展）

- ① 「マニユエル・ブルケール 20世紀パリの麗しき版画本の世界」展
館蔵品による内容に変更、緊急事態宣言により臨時休館、会期延長：会期22日
- ② 「包む 日本の伝統パッケージ」展
- ③ 「木村伊兵衛と画家たちの見たパリ 色とりどり」展

イ 指定管理事業（2展）

- ① 「目黒区美術館コレクション展 日々のよろこび2021」展
- ② 「めぐろの子どもたち展」

ウ 区からの受託事業

「障がいのあるアーティストによる作品展日々のよろこび2021」展
目黒区美術館コレクション展の会期中に開催 18日間

エ 展覧会の入館者数

35,419人（各展覧会の合計目標を約9,000人上回る。）
報道機関等への広報等により、情報の掲載や問い合わせも多くありました。

(2) 教育普及事業

教育普及事業については、緊急事態宣言中の休館時にオンラインによるトークイベントを実施しました。

また、ワークショップ事業は、オンラインの活用やソーシャル・ディスタンスを確保したうえで、セミナーとワークショップを開催しました。

ア ワークショップ

- ① ワークショップ夏
オンラインでセミナーを3回、ワークショップを1回開催しました。
- ② ワークショップ春
定員を制限し、2回開催しました。

イ 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー、デザインキャンプ

両事業とも中止しました。

ウ 大人のための美術カフェ

ギャラリートークではなくスライドトーク形式で開催しました。

エ トイコレクションプログラム

グループごとの申込制とし、3回に分けて開催しました。

オ 館長による美術講座

展示室を使用しソーシャル・ディスタンスを確保したうえで開催しました。

(3) 調査研究

作品の保管・活用は、所蔵作品の保存・修復のほか、国内の美術館などへ所蔵作品の貸出しを行いました。

所蔵作品や所蔵作家だけでなく最新の美術の動向にも精通し、斬新な視点を構築するために、これまでと同様に調査研究に努め、魅力的な展覧会の開催を目指しました。

(4) 区民等の芸術文化活動の支援

区民等への芸術文化活動支援の一環として、区展及び目黒区美術家協会展など区内3美術団体の展覧会開催への協力・支援をしました。

また、広報活動に関しては、YouTube 公式ページによる動画配信やSNSを活用した情報発信などに積極的に取り組みました。

(5) 区民ギャラリーの運営

利用率は、年間で80.7%となり、2年度と比べ約30ポイント増加しました。

空き状況のウェブサイトでの公開や、メールマガジンの配信などにより、コロナ禍でもキャンセル数は13件に留まり利用率は改善されました。

II 令和3年度目黒区文化ホール事業報告

※ 入場者数は実際に入場した人数を示し、チケット販売数とは異なる。定員は、各公演のチケット販売時に適用されている国・都による開催条件に従って設定している。

第1 自主事業（定款第4条第1項第1号）

1 鑑賞事業

(1) 主催事業（4事業＝6公演 ※ 1事業中止）

No.	内容		
1 ①	公演名	〈フレッシュ名曲コンサート〉 キャンペーン・コンサート 戸澤采紀（ヴァイオリン）	
	公演日	令和4年1月8日（土）	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定 1,000 円	
	入場者	164 人【定員 200 名】／完売	
概要	<p>令和4年3月5日（日）に開催するフレッシュ名曲コンサートのキャンペーン公演。休憩なしの1時間の中で、ヴァイオリンの名曲の魅力を凝縮したプログラムを熱演した。</p> <p>令和4年1月9日（日）より公演の様様をホール公式 YouTube にて無料公開し、3月末現在で2,457回視聴された。</p> <p>【出演】戸澤采紀（ヴァイオリン）、吉武優（ピアノ）</p> <p>【曲目】ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 op.100 ブラームス（ヨアヒム編曲）：ハンガリー舞曲集より 第1番ト短調 / 第14番ニ短調 / 第18番ニ長調 フランク：ヴァイオリン・ソナタ イ長調 [アンコール] ブラームス：5つのリート op.105-1 「調べのように私を通り抜ける」</p>		
1 ②	公演名	フレッシュ名曲コンサート 太田弦×高木凜々子×東京交響楽団	
	公演日	令和4年3月5日（土）	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S席 4,000 円 A席 3,300 円 学生 1,000 円 オンライン視聴券 1,000 円	
	入場者	644 人【定員 1,200 名】	

	概要	<p>公演日直前に指揮者・鈴木優人とヴァイオリニスト・戸澤采紀が新型コロナウイルスの濃厚接触者となったため、代役を立てて実施した。</p> <p>新たな指揮者・太田弦、ヴァイオリニスト・高木凜々子は急遽の出演となったものの、オーケストラとも息の合った熱演で来場者から好評を得た。</p> <p>なお、希望者にはチケットを払い戻した。</p> <p>当公演ではライブ配信（令和4年3月19日（日）までアーカイブ配信あり）を実施した。（視聴券60枚販売、再生回数298回）</p> <p>また、開演前に楽団員の弦楽四重奏によるウェルカム・コンサートを実施した。</p> <p>【出演】 太田弦（指揮）、高木凜々子（ヴァイオリン）、東京交響楽団（管弦楽）</p> <p>【曲目】 ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op. 61／交響曲第7番 イ長調 op. 92</p> <p>[ソリストアンコール] J.S. バッハ：無伴奏パルティータ第3番よりガヴォット</p> <p>【主催】 （公財）目黒区芸術文化振興財団、（公財）東京都歴史文化財団（東京文化会館）</p> <p>【企画協力】 東京オーケストラ事業協同組合</p>	
2	<p>公演名</p> <p>公演日</p> <p>会 場</p> <p>料金等</p> <p>入場者</p>	<p>新春落語二人会～桂文珍・春風亭小朝 特別ゲスト 神田松鯉（人間国宝）</p> <p>令和4年1月13日（木）</p> <p>大ホール</p> <p>S席3,700円 A席3,200円</p> <p>969人【定員1,200名】</p>	
3 ① ②	<p>公演名</p> <p>公演日</p> <p>会 場</p> <p>料金等</p> <p>入場者</p>	<p>目黒区美術館「木村伊兵衛と画家たちの見たパリ 色とりどり」展 関連イベント</p> <p>ミュージアムコンサートーパリの風薫る マヌーシュ・ジャズの午後ー</p> <p>令和4年2月23日（水・祝）</p> <p>①13時開演 ②15時開演（※追加開催）</p> <p>目黒区美術館ワークショップ室</p> <p>全席自由 2,000円</p> <p>①31人【定員31名】／完売 ②31人【定員31名】／完売</p>	

	概要	<p>展覧会のテーマに合わせ、20世紀前半にパリで人気を博し、その後世界に広まったマヌーシュ・ジャズのコンサートを開催した。</p> <p>このジャンルの創始者ジャンゴ・ラインハルトによる名曲を中心に、バッハのアレンジなども織り交ぜ、マヌーシュ・ジャズの魅力を伝えた。</p> <p>当初1公演の予定であったが、即完売となったため追加公演を実施した。</p> <p>【出演】河野文彦（ギター）、松下幹雄（ギター）、阿部恭平（ベース）、川又瑞代（ヴァイオリン）</p> <p>【曲目】I' ll See You In My Dreams / Troublant Bolero / 2つのヴァイオリンのための協奏曲 / Chez Jacquet / Minor Swing / Indifference / Nuages Joseph Joseph</p> <p>[アンコール] In My Life / 黒い瞳</p>	
4	公演名	Banksia Trio 須川崇志、林正樹、石若駿	
	公演日	令和4年3月21日（月・祝）	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定 3,500円	
	入場者	167人【定員200名】／完売	
	概要	<p>昨年もチケットが完売となったトリオが1年ぶりに再登場</p> <p>今回は新曲や新レパートリーが中心の公演となったが、ライブハウスとは一線を画したホールでのジャズライブに、来場者の満足度も高かった（来場者アンケートの内容について3段階中で一番良い評価である「良かった」が84%だった）。</p> <p>【出演】須川崇志（ベース）、林正樹（ピアノ）、石若駿（ドラム）</p>	

※ 中止となった公演

★	公演名	三浦謙司ピアノ・リサイタル	★中止
	公演日	令和4年2月25日（金）	
	会場	小ホール	

(2) 共催事業 (8 事業=55 公演 ※ 2 事業中止)

No.	内容		
1 ①	公演名	気になる三人かい 桃月庵白酒・柳家三三・春風亭一之輔	
	公演日	令和3年4月14日(水) ①14:00 開演 (※追加開催) ②18:30 開演	
	会場	大ホール	
	料金等	S 席 3,700 円 A 席 3,200 円	
	入場者	①514 人【定員 600 名】 ②529 人【定員 600 名】／完売 ※ 各回の定員は、1 席ごとに間隔を空けて会場定員の半数とした。	
	概要	夢空間主催による、若手の中でも特に注目されている落語家の三人会夜公演が好評により完売となったため、昼公演を追加開催した。 【演目・昼の部】 柳家三三「転宅」、春風亭一之輔「人形買い」、桃月庵白酒「百川」 【演目・夜の部】 春風亭一之輔「寝床」、桃月庵白酒「お茶汲み」、柳家三三「五貫裁き」	
1 ②	公演名	柳家小三治 初夏の会	
	公演日	令和3年5月28日(金)	
	会場	大ホール	
	料金等	S 席 3,900 円 A 席 3,400 円	
	入場者	706 人【定員当初 1,200 名】 ※ 緊急事態宣言が発出され、チケット販売が定員の半数を超えていたため、販売を5月10日で終了した。	
	概要	夢空間主催による、人間国宝・柳家小三治の落語公演 【演目】「粗忽長屋」、「猫の皿」	
1 ③	公演名	柳の家の三人会	
	公演日	令和3年7月7日(水)	
	会場	大ホール	
	料金等	S 席 3,700 円 A 席 3,200 円	
	入場者	649 人【定員 1,200 名】	
	概要	夢空間主催による、柳亭市馬、柳家京太郎、柳家花緑の落語公演 【演目】柳亭市馬「らくだ」、柳家喬太郎「スナックランドぞめき」、柳家花緑「二階ぞめき」	

2 ①	公演名	二期会ニューウェーブ・オペラ劇場 ヘンデル作曲「セルセ」 プレトーク&コンサート	
	公演日	令和3年4月24日(土)	
	会場	小ホール	
	料金等	全席自由 一般500円	
	入場者	110人【定員140名】 ※ 舞台と客席の間隔を空けるため、4列目以降を使用した。	
	概要	二期会主催のオペラ「セルセ」公演のプレイベント 本公演の演出を担当する舞踊家の中村蓉によるプレトークと、出演するソプラノ雨笠佳奈、テノール澤原行正、チェンバロ上尾直毅による演奏で、上演機会の少ない本作品の内容や聴きどころ、今回の演出の特徴などを紹介した。	
2 ② ③	公演名	二期会ニューウェーブ・オペラ劇場 ヘンデル作曲「セルセ」	
	公演日	①令和3年5月22日(土) ②令和3年5月23日(日)	
	会場	大ホール	
	料金等	S席10,000円 A席9,000円 B席8,000円 学生席2,000円	
	入場者	①712人【定員990名】 ②790人【定員990名】 ※ チケット販売を5月10日で終了した。 ※ 客席は1階席8列目以降を使用した。	
	概要	東京二期会主催 東京二期会の若手歌手と、鈴木秀美が指揮するバロック・オーケストラの演奏によるオペラ。舞踊家の中村蓉がオペラの初演出を手掛け、上演機会の少ないバロック・オペラを鑑賞する貴重な機会となった。	
3	公演名	魂の津軽三味線～高橋竹童	
	公演日	令和3年5月15日(土)	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定 一般4,000円	
	入場者	88人【定員100名】 ※ 定員は、会場定員の半数とした。	

	概 要	<p>サウンドポート主催、津軽三味線奏者高橋竹童による演奏会 日本の伝統楽器による“郷土の音楽”を、高橋竹童によるMCと共に進行。津軽じょんから節(中節)・(新節)、津軽音頭など三味線演奏の他、尺八、胡弓の演奏も行った。</p>	
4 ① ② ③	公演名	<p>クセナキスと日本 大ホール：18人のプレイアデス 小ホール：演奏／ギャラリー展示／音楽＋映像インスタレーション</p>	<p>大ホール</p> 
	公演日	<p>令和3年6月5日(土) 大ホール ①16時開演 ②19時開演 小ホール 14時開演</p>	
	会 場	<p>大ホール・小ホール</p>	
	料金等	<p>全席指定 5,000円(大ホール1回目公演＋小ホールセット券)、大ホール単券3,000円</p>	<p>小ホール</p> 
	入場者	<p>大ホール ①334人【定員593名】 ②257人【定員593名】 ※定員は、会場定員の半数とした。 小ホール 88人【定員100名】／完売 ※定員は、会場定員の半数とした。</p>	
概 要	<p>20世紀を代表する現代音楽の作曲家であるクセナキスの作品のみで構成し、日本の文化や能に関心を寄せていたというクセナキスと日本との関わりにも目を向けたプログラム 芸術監督は国際的に活躍する打楽器奏者・加藤訓子 大ホールでは、加藤訓子と能楽師中所宜夫による「ルボンと舞」、加藤訓子の下で研鑽を積んできた若手打楽器奏者による「18人のプレイアデス」を演奏。開演前には出演者によるロビーパフォーマンスも実施した。 小ホールでは、現代曲のスペシャリストとして知られる演奏家と邦楽器奏者による演奏と、音楽と映像のインスタレーションを実施した。クセナキスの作品をライブで味わえる貴重な機会となり、幅広い年代が来場した。</p> <p>【曲目・出演】 大ホール 「ルボンと舞」 演奏・パフォーマンス：中所宜夫(能楽師)、加藤訓子(打楽器) 「18人のプレイアデス」 演奏：inc. percussionists 小ホール 演奏：「ピアノのための6つの歌」、「エヴリアリ」高橋アキ(ピアノ) 「エンバリ」 般若佳子(ヴィオラ) 「入陽」 木村麻耶(箏)、LEO(箏)、本條秀慈郎(三味線)、長谷川将山(尺八) インスタレーション：「響き・花・間」、「プレイアデス」</p>		

5 ① ⑬	公演名	青山メインランドグループファンタジースペシャルブロードウェイミュージカル「ピーターパン」	 
	公演日	令和3年7月22日(木)～8月1日(日)	
	会場	大ホール	
	料金等	S席おとな9,000円 こども5,500円 A席おとな5,000円 こども3,000円	
	入場者	<p>令和3年</p> <p>7月22日(木・祝) 764人</p> <p>7月23日(金・祝) ①12時開演 666人</p> <p>7月23日(金・祝) ②17時開演 594人</p> <p>7月24日(土) 678人</p> <p>7月25日(日) 754人</p> <p>7月27日(火) 738人</p> <p>7月28日(水) ①11時開演 629人</p> <p>7月28日(水) ②16時開演 557人</p> <p>7月29日(木) 621人</p> <p>7月30日(金) 648人</p> <p>7月31日(土) ①11時開演 637人</p> <p>7月31日(土) ②16時開演 596人</p> <p>8月1日(日) 635人</p> <p>【定員当初1,200名】</p> <p>※ 緊急事態宣言が発出され、チケット販売が定員の半数を超えていたため、販売を7月11日で終了した。</p>	
概要	<p>株式会社ホリプロ、フジテレビジョン主催によるブロードウェイミュージカル『ピーターパン』</p> <p>1981年に日本で上演されてから毎年夏に開催されているファミリー向けの公演で、今回で40周年となった。</p> <p>出演は吉柳咲良(10代目ピーターパン)、小西遼生(フック船長)、美山加恋(ウェンディ)、潤色・訳詞フジノサツコ、演出には森新太郎を迎え、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じて実施した。</p>		
6 ①	公演名	第9回めぐろバレエ祭り 東京バレエ学校 コンテンポラリー・クラス公開レッスン	
	公演日	令和3年8月2日(月)	
	会場	大ホール	
	料金等	入場無料	
	入場者	62人【定員600名】	
概要	東京バレエ学校コンテンポラリー・クラスの生徒たちが取り組んでいるレッスンを公開		

6 ②	公演名	第9回めぐろバレエ祭り 東京バレエ学校 スクール・パフォーマンス	
	公演日	令和3年8月3日(火)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 一般2,000円(中学生以下半額)	
	入場者	577人【定員当初1,200名】 ※ 緊急事態宣言が発出され、チケット販売が定員の半数を超えていたため、販売を7月12日で終了した。	
	概要	東京バレエ学校による公演	
6 ③	公演名	第9回めぐろバレエ祭り 吉岡美佳のスペシャル・レッスン ～バレエ初級～	
	公演日	令和3年8月4日(水)	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費3,000円	
	入場者	12人【定員20名】	
	概要	18歳以上でバレエ歴2年以上の方を対象とした、元東京バレエ団プリンシパルの吉岡美佳による初級者向けの体験レッスン	
6 ④ ⑤ ⑥	公演名	第9回めぐろバレエ祭り もっと上手に	
	公演日	①令和3年8月5日(木) 12時開始 ②令和3年8月5日(木) 13時30分開始 ③令和3年8月6日(金) 13時開始	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費800円	
	入場者	①28人【定員30名】 ②23人【定員30名】 ③29人【定員30名】	
	概要	バレエ歴1年以上の小学1年生から3年生までを対象にした体験レッスン	

6 ⑦ ⑧	公演名	第9回めぐろバレエ祭り はじめてのバレエ	
	公演日	①令和3年8月6日(金) 10時30分開始 ②令和3年8月6日(金) 11時30分開始	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 800 円	
	入場者	①25 人【定員 30 名】 ②27 人【定員 30 名】	
	概要	3歳から6歳までのバレエ未経験の子どもを対象にした体験レッスン	
6 ⑨ ⑩ ⑪	公演名	第9回めぐろバレエ祭り ミニトゥーシューズにデコレーションしよう！	
	公演日	令和3年8月6日(金) ①10時開始 ②11時30分開始 ③13時開始	
	会場	小ホールホワイエ	
	料金等	参加費 ①②は 2,200 円(小学生対象) ③4,400 円(1組2名、親子ペア対象)	
	入場者	①33 人【定員 34 名】 ②33 人【定員 34 名】 ③32 人【定員 17 組 34 名】	
	概要	ミニトゥーシューズにデコレーションして華やかなキーホルダーを作るワークショップ	
6 ⑫ ⑬	公演名	第9回めぐろバレエ祭り ティアラをつくろう！	
	公演日	令和3年8月6日(金) ①14時30分開始 ②16時開始	
	会場	小ホールホワイエ	
	料金等	参加費 3,500 円	
	入場者	①33 人【定員 34 名】 ②30 人【定員 34 名】	
	概要	小学生を対象にした、ビーズなどを飾りつけて光る自分だけのティアラを作るワークショップ	

6 ⑭	公演名	第9回めぐろバレエ祭り サマー・バレエ・コンサート	
	公演日	令和3年8月6日(金)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S席6,000円 A席5,000円 中学生以下S席3,000円 A席2,500円	
	入場者	525人【定員当初1,200名】 ※ 緊急事態宣言が発出され、チケット販売が定員の半数を超えていたため、販売を7月12日で終了した。	
	概要	クラシック・バレエの名作『パキータ』と、東京バレエ団のダンサーたちが創作に取り組む〈Choreographic Project2021〉を上演した。	
6 ⑮	公演名	第9回めぐろバレエ祭り 東京バレエ団ダンサーズ・トーク	
	公演日	令和3年8月7日(土)	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費1,500円	
	入場者	37人【定員90名】	
	概要	東京バレエ団のダンサーたちによるバレエ・ライブやこれから上演される舞台について語るトークイベント	
6 ⑯	公演名	第9回めぐろバレエ祭り スクリーンで観る名作バレエ 東京バレエ団「海賊」舞台映像上映会	
	公演日	令和3年8月7日(土)	
	会場	小ホール	
	料金等	入場無料	
	入場者	74人【定員90名】	
	概要	東京バレエ団が2019年3月に初演した、アンナ=マリー・ホームズ版「海賊」の舞台映像上映会	

6 ⑰ ⑱	公演名	第9回めぐろバレエ祭り ぬり絵であそぼう！	
	公演日	①令和3年8月7日（土） ②令和3年8月8日（日）	
	会場	小ホールホワイエ	
	料金等	入場無料（所要時間は1人20分）	
	入場者	①32人（延べ人数） ②52人（延べ人数）	
	概要	4歳以上を対象にしたバレエ作品で有名な漫画家 榎村さとるが描きおろした絵のぬり絵コーナー	
6 ⑲ ⑳ ㉑	公演名	第9回めぐろバレエ祭り 武蔵野ルネのバレエ似顔絵コーナー	
	公演日	①令和3年8月6日（金） ②令和3年8月7日（土） ③令和3年8月8日（日）	
	会場	保育室	
	料金等	参加費1,000円（ノート付き）	
	入場者	①52人（延べ人数） ②28人（延べ人数） ③54人（延べ人数）	
	概要	イラストレーター武蔵野ルネによるバレエ似顔絵コーナー	
6 ㉒ ㉓ ㉔	公演名	第9回めぐろバレエ祭り 子どものためのバレエ ねむれる森の美女	
	公演日	①令和3年8月7日（土） ②令和3年8月8日（日）11時30分開演 ③令和3年8月8日（日）15時開演	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S席6,000円 A席5,000円 中学生以下 S席3,000円 A席2,500円	
	入場者	①763人 ②760人 ③728人 【定員当初1,200名】 ※ 緊急事態宣言が発出され、チケット販売が定員の半数を超えていたため、販売を7月12日で終了した。	
	概要	東京バレエ団による子どものためにアレンジした本格バレエ「ねむれる森の美女」の上演。初めてバレエ鑑賞する大人やバレエファンも楽しめる人気公演	

6 ②⑤ ②⑥	公演名	第9回めぐろバレエ祭り 親子でバレエ・ストレッチ	
	公演日	令和3年8月8日(日) ①9時30分開始 ②10時30分開始	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費1組800円	
	入場者	①30人【定員15組30名】 ②22人【定員15組30名】	
	概要	①は4歳から6歳までとその保護者、②は小学1年生から4年生までとその保護者が東京バレエ学校教師の指導で親子一緒にストレッチの体験ができるイベント	
6 ②⑦ ②⑧	公演名	第9回めぐろバレエ祭り 0～3歳児のための楽しいバレエ・ワークショップ	
	公演日	令和3年8月8日(日) ①11時30分開始 ②15時30分開始	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費1組800円	
	入場者	①24人【定員20組40名】 ②28人【定員20組40名】	
	概要	0歳から3歳までとその保護者を対象とした、バレエ音楽のリズムに乗って身体を動かすことを親子一緒に体験するイベント	
6 ②⑨	公演名	第9回めぐろバレエ祭り 大人バレエ・ストレッチ	
	公演日	令和3年8月8日(日)	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費1,500円	
	入場者	3人【定員40名】	
	概要	18歳以上を対象とした、東京バレエ学校の講師、森田雅順によるバレエの要素を取り入れたストレッチのレッスン	

7	公演名	新春！デキシーランド・ジャズ・ジャンボリーvol.14	
	公演日	令和4年1月8日（土）	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S席 5,500円 A席 5,000円 オンライン視聴料 2,000円	
	入場者	683人【定員 1,200名】	
	概要	<p>一般社団法人日本ポピュラー音楽協会主催によるビッグバンドジャズコンサート。ゲストに北村英治(クラリネット)を迎え、日本のデキシージャズ界の巨匠たちとの演奏を行った。</p> <p>コロナ禍でありながら、ホールでのチケット販売数が例年より多く、ビッグバンドジャズの根強い人気の高さが伺えた。2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として、公演後のアーカイブ配信を実施した。</p>	
8 ①	公演名	Music Dialogue 2021-2022 vol.4 字幕実況解説付き 公開リハーサル	
	公演日	令和4年3月1日（火）	
	会場	中目黒GTプラザホール	
	料金等	全席指定 一般 2,000円 学生 500円	
	入場者	40人【定員 75名】	
	概要	<p>室内楽作品の初めてのリハーサルを音楽ライターや演奏家による字幕実況解説付きで公開し、休憩中に観客からオンラインで受け付けた質問に、休憩後、解説者と出演者が答えるという公演</p> <p>実況解説の投影に備付のプロジェクターを使うなど、中目黒GTプラザホールの機能・特性が活かされた内容であった。</p> <p>【出演】小栗まち絵（ヴァイオリン）、大山平一郎（ヴィオラ）、辻本玲（チェロ）、酒井有彩（ピアノ）</p> <p>【曲目】ブラームス：ピアノ四重奏曲第3番 ハ短調 op.60</p>	
8 ②	公演名	Music Dialogue 2021-2022 vol.4 -室内楽を通じて音楽家と対面する	
	公演日	令和4年3月4日（金）	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定 一般 4,000円 学生 2,000円	
	入場者	72人【定員 100名】	

	概要	<p>公開リハーサルで演奏されたブラームスに加え、クララ・シューマンの曲も演奏された。</p> <p>公開リハーサルでの対話に加え、本公演の演奏後にも観客から寄せられた質問に演奏者が答えることにより、曲や出演者への理解をより深めることができた公演であった。</p> <p>【出演】小栗まち絵（ヴァイオリン）、大山平一郎（ヴィオラ）、辻本玲（チェロ）、酒井有彩（ピアノ）</p> <p>【曲目】クララ・シューマン：ピアノ三重奏曲 op. 17/ブラームス：ピアノ四重奏曲第3番 ハ短調 op. 60</p>
--	----	--

※ 中止となった公演

★	公演名	ザ・ピアノエラ 2021	★中止
	公演日	令和3年11月27日（土）28日（日）	
	会場	大ホール	
★	公演名	キエフ・バレエータラス・シェフチェンコ記念ウクライナ国立バレエ「くるみ割り人形」（全2幕）	★中止
	公演日	令和3年12月25日（土）	
	会場	大ホール	

2 地域の芸術文化・支援事業

(1) 主催事業 (2 事業=3 公演)

No.	内容		
1	公演名	第10回めぐろパーシモンホール 避難訓練コンサート	
	公演日	令和3年11月18日(木)	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定、入場無料(事前申込)	
	入場者	109人【定員100名】/予定枚数終了	
	概要	<p>新型コロナウイルス感染拡大の中での避難訓練コンサートになるため、大人数での大ホールを見送り、今回は初めて小ホールで開催した。</p> <p>小ホールの公演は、対応するスタッフも少なく、施設が地下にあるため避難には必ず階段を使う必要がある等、大ホールとは異なる状況を確認することができた。</p> <p>出演者は、アウトリーチプログラムに出演経験のある金管五重奏のグループ祭ばやし</p> <p>【後援】目黒区 【協力】碑文谷警察署、東急電鉄株式会社</p>	
2 ①	公演名	未来の音シリーズ vol. 33 吉見友貴(ピアノ)	
	公演日	令和3年7月17日(土)	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定 2,800円 配信視聴券 1,000円	
	入場者	176人【定員200名】/完売	
	概要	<p>若手演奏家シリーズ「未来の音」第33回の出演者は、令和元年のフレッシュ名曲コンサートに出演し、指揮者飯森範親、東京交響楽団との共演でラヴェルのピアノ協奏曲を演奏したピアニスト・吉見友貴</p> <p>前半は古典派～初期ロマン派、後半は「ダンス」をテーマとした選曲の、コントラストのある意欲的なプログラムを披露した。定員の100%で販売できる期間中にチケットは完売した。</p> <p>当公演ではライブ及びアーカイブ配信を行った(視聴券47枚販売、再生回数64回)。</p> <p>【曲目】 ハイドン：ピアノ・ソナタ ハ長調 Hob. XVI: 50 シューベルト：ピアノ・ソナタ 第7番 変ホ長調 D.568 アルベニス：イベリア 第1巻 フォーレ：ヴァルス・カプリス 第1番 Op.30 ショパン：アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ 変ホ長調 Op.22 〈アンコール〉 メンデルスゾーン：無言歌集 第1巻 第4曲 Op.19-4 ガーシュウィン：3つのプレリュード 第1番</p>	

2 ②	公演名	未来の音シリーズ vol. 34 北川千紗 (ヴァイオリン)	
	公演日	令和3年11月20日 (土)	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定 2,800円	
	入場者	123人【定員200名】	
概要	<p>第89回日本音楽コンクール第1位・聴衆賞等受賞、第16回チャイコフスキー国際コンクールのセミファイナリストの若き実力派が、バッハの無伴奏から演奏機会が希少なレスピーギの名曲まで、じっくりとソナタに向き合うプログラムを披露した。</p> <p>【出演】北川千紗 (ヴァイオリン)、三又瑛子 (ピアノ)</p> <p>【曲目】J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第1番 ト短調 BWV1001 ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第8番 ト長調 op.30-3 ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ第3番 ニ短調 op.108 レスピーギ：ヴァイオリン・ソナタ ロ短調 P.110 [アンコール] ナイジェル・ハス：ラヴェンダーの咲く庭で</p>		

(2) 共催事業 (13事業=15公演 ※ 2事業中止)

No.	内容		
1	公演名	目黒区東山オーケストラ 第26回定期演奏会 スプリングコンサート	
	公演日	令和3年4月11日 (日)	
	会場	大ホール	
	料金等	入場無料 (事前申込)	
	入場者	427人【定員527名】 ※ 前舞台使用のため、1階6列目以降を使用し、その定員の半分とした。	
概要	<p>めぐろパーシモン芸術文化ネットワークに属する目黒区東山オーケストラ主催による定期演奏会 多くの家族連れが来場し、ポピュラーやクラシックの名曲を楽しんだ。</p>		
2	公演名	第78回全国舞踊コンクールアンコール公演	
	公演日	令和3年6月12日 (土)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席自由 2,600円 当日券 2,900円	
	入場者	580人【定員600名】	

	概要	東京新聞主催。第 78 回全国舞踊コンクール各部門上位入賞者がコンクール入賞演目を披露するアンコール公演	
3	公演名	第 68 回児童舞踊合同公演	
	公演日	令和 3 年 6 月 13 日 (日)	
	会 場	大ホール	
	料金等	全席自由 2,000 円	
	入場者	555 人【定員 600 名】	
	概要	東京新聞主催。児童舞踊団体が小作品やテーマ作品を発表する合同公演 今回のテーマは「Earth 生命の始まり」で演技を披露した。	
4 ①	公演名	伝統文化「狂言」に親しむ	
	公演日	令和 3 年 6 月 12 日 (日)	
	会 場	小ホール	
	料金等	参加費 1,000 円	
	入場者	59 人【定員 70 名】	
	概要	<p>(公財) 北野生涯教育振興会主催。「伝統文化に親しむ」と題し、歌舞伎、雅楽、能、狂言、文楽のうち、毎年ひとつずつ取り上げているが、今年度は「狂言」を実施した。</p> <p>例年、構成は講師による説明、ワークショップ、実演鑑賞の三本立てで行われ、ワークショップについては参加者も舞台上に上がって行っていたが、今回は新型コロナウイルス感染症対策のため、自席にて身振りを真似るだけの実施となった。</p>	
4 ②	公演名	情熱の踊り「フラメンコ」に親しむ	
	公演日	令和 3 年 9 月 4 日 (土)	
	会 場	小ホール	
	料金等	参加費 1,000 円	
	入場者	66 人【定員 70 名】	
	概要	<p>(公財) 北野生涯教育振興会主催。令和元年度のバレエに続き 2 回目になる舞台芸術に親しむことを目的に行われている講座で、今年度は「フラメンコ」を実施した。</p> <p>企画段階ではワークショップを行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症対策のため、講師による説明と実演鑑賞のみで開催した。</p>	

5	公演名	第 28 回めぐろ童謡コンサート	
	公演日	令和 3 年 10 月 24 日 (日)	
	会 場	大ホール	
	料金等	全席自由 前売券 800 円 中学生以下無料 当日券 1,000 円	
	入場者	588 人【定員 600 名】	
概 要	<p>めぐろパーシモン芸術文化ネットワークに属する童謡の里めぐろ保存会主催によるコンサート メインゲスト「ダ・カーポ」をはじめ、目黒区内の合唱団体や東京音楽大学の学生が出演した。子ども連れの家族から高齢者まで幅広い世代が来場した。</p>		
6	公演名	目黒吹奏楽団 アフタヌーンコンサート 2021	
	公演日	令和 3 年 11 月 23 日 (火・祝)	
	会 場	大ホール	
	料金等	全席指定 入場無料 (事前申込)	
	入場者	545 人【定員 803 名】	
概 要	<p>めぐろパーシモン芸術文化ネットワークに属する目黒吹奏楽団主催によるコンサート 子どもから高齢者まで幅広い世代が来場し、ディズニーメドレーや映画音楽を楽しんだ。</p>		
7	公演名	目黒区民交響楽団 第 94 回定期演奏会	
	公演日	令和 3 年 12 月 12 日 (日)	
	会 場	大ホール	
	料金等	全席自由 1,000 円	
	入場者	841 人【定員 1,200 名】	
	概 要	<p>めぐろパーシモン芸術文化ネットワークに属する、目黒区を拠点として活動している目黒区民交響楽団主催による演奏会 指揮者に平井秀明、ピアノソリストに三浦友理枝を迎え、ラロ：歌劇「イスの王様」序曲、ショパン：ピアノ協奏曲第 1 番ホ短調 Op. 11、ベルリオーズ：幻想交響曲 Op. 14 を演奏した。</p>	

8	公演名	東京マンドリン宮田楽団2021 ウインターコンサート	
	公演日	令和3年12月18日(土)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 入場無料(事前申込)	
	入場者	451人【定員600名】	
概要	目黒区で活動している東京マンドリン宮田楽団主催によるコンサート 申込は全て事前申込制で、目黒区民50名を招待した。聞き馴染みのある曲からラテン等の曲まで幅広く演奏された。		
9	公演名	身体で聴こう音楽会 第261回定期コンサート/パイオニアスペシャルコンサート	
	公演日	令和3年12月19日(日)	
	会場	小ホール	
	料金等	全席自由 入場無料(事前申込)	
	入場者	80人【定員100名】	
概要	パイオニア株式会社主催によるコンサート “体感音響システム(ボディソニック)”を使い、手話通訳や字幕など活用しながら、障害のある人も無い人も一緒に楽しむことができる公演 第1部が「東京ろう太鼓三団体」、「狛江市手話ダンスサークル」、パイオニア社員による手話レクチャー、第2部が「フィルハーモニッシャー・コール」による合唱を実施した。		
10	公演名	第19回めぐろクラシックセレクション 目黒区クラシック音楽家協会コンサート	
	公演日	令和4年3月13日(日)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席自由 一般2,000円 学生1,000円	
	入場者	708人【定員1,200名】	
概要	めぐろパーシモン芸術文化ネットワークに属し、目黒区に縁のあるプロの音楽家で構成されている目黒区クラシック音楽家協会が主催するコンサート ピアノ独奏、声楽、管楽器、5重奏など幅広い編成のプログラムで実施され、子どもから高齢者まで幅広く来場した。		

11	公演名	北野財団混成合唱団 第4回チャリティコンサート	
	公演日	令和4年3月13日(日)	
	会場	小ホール	
	料金等	関係者のみ	
	入場者	46人【定員48名】	
概要	<p>公募による合唱団のチャリティコンサート 合唱団の人数を例年の半数程度に抑え、また後部座席のみ使用し、定員を半分に抑えて開催した。プログラムには2年前に本番直前で中止になった際に演奏予定だった委嘱新作曲を取り入れた。 【出演】荒牧小百合・竹内雅挙(指揮・指導)、北野財団混声合唱団</p>		
12 ① ②	公演名	親子のためのふれあいコンサート2022 歌のお姉さん、お兄さんも飛び出す!!世界と日本の名曲コンサート	
	公演日	令和4年3月19日(土) ①11時開演 ②14時30分開演	
	会場	小ホール	
	料金等	全席自由 前売券2,500円 当日券3,000円 ※3歳未満膝上無料	
	入場者	①117人【定員200名】 ②130人【定員200名】	
概要	<p>東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団が主催する0歳から入場可能なコンサート 聴き馴染みのあるオペラ歌曲やアニメ主題歌等を中心に演奏され、着席したまま指揮者体験を行うなど世代を超えて楽しめる内容となった。 【出演】稲田康(指揮)、東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団 ゲスト:江口二美(ソプラノ)、青柳素晴(テノール)</p>		
13	公演名	第79回全国舞踊コンクール	
	公演日	令和4年3月24日(木) ~4月5日(火)	
	会場	大ホール	
	料金等	入場無料	
	入場者	2,795人(延べ人数)	
概要	<p>旧目黒区公会堂開館時から開催され、日本を代表する舞踊家を多数輩出している東京新聞主催の舞踊の全国大会を開催した。 全部門の予選・決選審査の様子が、東京新聞公式YouTubeチャンネルにてライブ配信された。</p>		

※中止となった公演

★	公演名	第19回パーシモンほたる祭り	★中止
	公演日	令和3年7月11日(日)	
	会場	大ホール・小ホール等	
★	公演名	目黒ユネスコ チャリティーコンサート2021	★中止
	公演日	令和3年12月12日(日)	
	会場	大ホール	

3 体験・普及事業

(1) 主催事業 (3 事業=31 公演)

1 ①	公演名	子どものためのワークショップ 2021 演劇入門ワークショップ	
	公演日	令和3年6月27日(日)	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 1,500 円	
	入場者	参加者 31 人【定員 30 名】	
	概要	<p>劇作家・演出家の平田オリザによる1日限定の演劇入門ワークショップ 参加者はワークショップを通して、コミュニケーションツールとしての演劇に触れた。</p> <p>【対象者】中学生、高校生 【講師】平田オリザ(劇作家、演出家) 【協賛】(公財)北野生涯教育振興会 【協力】有限会社アゴラ企画</p>	
1 ②	公演名	子どものためのワークショップ 2021 ダンスワークショップ	
	公演日	令和3年7月20日(火)～23日(金) ※最終日が発表会	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 2,000 円 発表会 入場無料	
	入場者	参加者 20 人【定員 20 名】 発表会 56 人	
概要	<p>男性のみのダンスグループ「コンドルズ」を主宰する振付家、ダンサーの近藤良平によるダンスワークショップ 全4日間の最終日にはミニ発表会(タイトルは「柿の木坂開会式 2021」)を開催した。</p> <p>【対象者】小学3年生から6年生 【講師】近藤良平(コンドルズ主宰、振付家、ダンサー) 【協賛】(公財)北野生涯教育振興会</p>		
1 ③	公演名	子どものためのワークショップ 2021 演劇&ダンスワークショップ	
	公演日	令和3年7月20日(火)～24日(土) ※最終日が発表会	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 3,500 円 発表会 入場無料	
	入場者	参加者 17 人【定員 20 名】 発表会 32 人	

	概要	<p>劇作家・演出家の大池容子と「コンドルズ」のメンバーである振付家、ダンサーの香取直登による演劇とダンスのコラボレーションワークショップ</p> <p>全5日間の最終日には発表会（タイトルは「2021年ぼくらの旅」と、講師、参加者によるアフタートークを開催</p> <p>【対象者】 中学1年生から高校3年生まで</p> <p>【講師】 大池容子（うさぎストライプ主宰、劇作家、演出家） 香取直登（ケミカル3主宰、振付家、ダンサー、コンドルズメンバー）</p> <p>【協賛】（公財）北野生涯教育振興会</p>	
2	公演名	物語を立ち上げる 大人の演劇ワークショップ	
	公演日	令和4年1月28日（金）～ 2月20日（日） ※ 全7回 最終日が発表会	
	会場	中目黒GTプラザホール、小ホール	
	料金等	参加費 5,000円 発表会 全席自由 入場無料（事前申込）	
	入場者	参加者 14人（抽選）／応募者 100人 【定員 15名】 入場者 58人	
	概要	<p>劇団ままごとを講師に迎えて4回目となる今回は、前回オンラインにて開催した「物語を描く」というワークショップでオリンピックをテーマに作り上げた物語を演劇作品として新たな形に立ち上げ発表した。</p> <p>今回は、「オリンピックツリー」という作品を取り上げたが、核となるストーリーが既に出来ていることから、演劇作品としてどう表現するかはもちろんの事、美術班・衣裳班・演劇班の3つに分かれて、舞台上の美術セットや衣装構成についても参加者が考える時間が設けられ、共に舞台作品を創り上げていく内容となった。</p> <p>【対象者】 18歳以上</p> <p>【講師】 ままごと 柴幸男、宮永琢生、大石将弘、端田新菜、加藤仲葉、石倉来輝、小山薫子</p>	
3 ①	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和3年9月2日（木）	
	会場	目黒区立緑ヶ丘小学校 体育館	
	入場者	5歳児 25人 目黒区立みどりがおかこども園の園児	
	概要	<p>区内こども園へのアウトリーチ活動</p> <p>緊急事態宣言中のため近隣の緑ヶ丘小学校の体育館を借り、年長組のみで開催した。</p> <p>【出演】 中丸達也（パーカッション）、宮本まいこ（スティールパン）、宮野下シリウ（マリンバ）</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】（公財）北野生涯教育振興会</p>	

3 ②	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和3年9月30日(木)	
	会場	目黒区立駒場小学校 体育館	
	入場者	小学6年生 81人	
概要	<p>普段、鑑賞の機会が少ないラテン音楽を、コンガ、ギロ、シェケレなど様々な楽器を用いて演奏した。</p> <p>また、ラテン音楽の歴史に関するレクチャーもプログラムに盛り込んだ。</p> <p>【出演】熱帯 JAZZ 楽団 カルロス菅野 (パーカッション)、奥山勝 (ピアノ)、澁谷和利 (ベース)、荒川琢哉 (コンガ)</p> <p>【後援】目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】(公財)北野生涯教育振興会</p>		
3 ③	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和3年10月6日(水)	
	会場	目黒区立東根小学校 体育館	
	入場者	小学6年生 113人	
概要	<p>感染症対策のため、広い体育館にて開催した金管五重奏のアウトリーチプログラムでは、大迫力な演奏と共に、一つひとつの楽器の構造や役割を紹介し、金管楽器の特徴を学べる時間となった。</p> <p>【出演】原田照久 (トランペット)、東野匡訓 (トランペット)、根本めぐみ (ホルン)、廣田純一 (トロンボーン)、山崎勇太 (チューバ)</p> <p>【後援】目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】(公財)北野生涯教育振興会</p>		
3 ④	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和3年10月13日(水)	
	会場	目黒区立菅刈小学校 体育館	
	入場者	小学4、5年生 105人	
概要	<p>学年ごとに実施した金管五重奏のアウトリーチプログラム 校歌を金管五重奏のアレンジで披露し、コロナ禍では初めてとなる児童たちとの歌の共演を果たした。</p> <p>【出演】原田照久 (トランペット)、東野匡訓 (トランペット)、根本めぐみ (ホルン)、廣田純一 (トロンボーン)、山崎勇太 (チューバ)</p> <p>【後援】目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】(公財)北野生涯教育振興会</p>		

3 ⑤	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和3年10月14日(木)	
	会場	目黒区立第八中学校 体育館	
	入場者	中学2年生 90人	
	概要	<p>適切に生徒同士の距離をとった上で声楽のアウトリーチを開催した。演奏終了後の「Q&A コーナー」では、生徒たちから具体的な質問が寄せられた。</p> <p>【出演】荒牧小百合（ソプラノ）、土崎譲（テノール）、古川かりん（ピアノ）</p> <p>【後援】目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】（公財）北野生涯教育振興会</p> <p>【協力】NPO 法人日本声楽家協会</p>	
3 ⑥	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和3年10月19日(火)	
	会場	目黒区立五本木小学校 体育館	
	入場者	小学4年生 65人	
	概要	<p>三味線、尺八、和太鼓による邦楽プログラム</p> <p>全国の民謡の他、ポップスや校歌を交えた曲目を演奏した。馴染みのある曲を和楽器の演奏で聞く貴重な機会となった。</p> <p>【出演】小山豊（津軽三味線小山流三代目）、小湊昭尚（尺八）、大多和正樹（和太鼓）</p> <p>【後援】目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】（公財）北野生涯教育振興会</p>	
3 ⑦	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和3年10月21日(木)	
	会場	目黒区立油面小学校 体育館	
	入場者	小学4年生 77人	
	概要	<p>油面小学校からのリクエストに応え、プログラムに日本の歌を多く取り入れた。</p> <p>小学4年生が対象のため、わかりやすい言葉で説明していただいた。</p> <p>【出演】鶴木絵里（ソプラノ）、布施雅也（テノール）、松本康子（ピアノ）</p> <p>【後援】目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】（公財）北野生涯教育振興会</p> <p>【協力】NPO 法人日本声楽家協会</p>	

3 ⑧	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和3年11月4日(木)	
	会場	目黒区立不動小学校 体育館	
	入場者	小学5年生 106人	
	概要	<p>不動小学校では6年生になると鼓笛隊の活動が始まるため、これから楽器選考をする5年生を対象に金管五重奏のアウトリーチを実施している。</p> <p>また、アルトホルンの魅力を伝えて欲しいという希望を受け、アルトホルンの紹介を随所に織り込みながら進行した。</p> <p>【出演】原田照久(トランペット)、東野匡訓(トランペット)、根本めぐみ(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、山崎勇太(チューバ)</p> <p>【後援】目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】(公財)北野生涯教育振興会</p>	
3 ⑨	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和3年11月17日(水)	
	会場	目黒区立大鳥中学校 体育館	
	入場者	中学2年生 180人	
	概要	<p>高橋竹童による津軽三味線、尺八、胡弓の演奏を行った。大鳥中学校では音楽の時間に三味線を体験するため、三味線奏者の希望があった。</p> <p>質疑応答では様々な質問があり、生徒たちの興味関心が強く表れていた。</p> <p>【出演】高橋竹童(津軽三味線)</p> <p>【後援】目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】(公財)北野生涯教育振興会</p>	
3 ⑩	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和3年12月10日(金)	
	会場	目黒区立烏森小学校 体育館	
	入場者	小学5年生 65人	
	概要	<p>バッハの無伴奏、ベートーヴェンの名曲からの抜粋、様々な奏法が盛り込まれたファリャなどのクラシックの作品と共に、人気アニメのテーマ曲をプログラムに組み込み、ヴァイオリンとピアノの様々な魅力を伝えた。</p> <p>【出演】久保田巧(ヴァイオリン)、村田千佳(ピアノ)</p> <p>【共催】NPO法人子どもに音楽を</p> <p>【後援】目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】(公財)北野生涯教育振興会</p>	

3 ⑪	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和3年12月13日(月)	
	会場	目黒区立原町小学校 体育館	
	入場者	小学5、6年生 90人	
	概要	<p>出演は今回が初共演のデュオ。児童たちも知っている作品を交えながら、プログラムの最後にラフマニノフのチェロ・ソナタからの第3、4楽章を配置したメリハリあるプログラム。両名ならではの迫力ある演奏を集中して聞く様子が見られた。</p> <p>【出演】辻本玲(チェロ)、沼沢淑音(ピアノ) 【共催】NPO法人子どもに音楽を 【後援】目黒区教育委員会 【協賛】(公財)北野生涯教育振興会</p>	
3 ⑫	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和3年12月16日(木)	
	会場	目黒区立第一中学校 体育館	
	入場者	中学3年生 46人	
	概要	<p>民謡やポップスの演奏、各楽器の紹介コーナーなどの他、演奏者のこれまでの活動の紹介もあり、中学3年生に大きな刺激を与えるプログラムとなった。</p> <p>【出演】小山豊(津軽三味線小山流三代目)、小湊昭尚(尺八)、大多和正樹(和太鼓) 【後援】目黒区教育委員会 【協賛】(公財)北野生涯教育振興会</p>	
3 ⑬	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和3年12月23日(木)	
	会場	目黒区立宮前小学校 体育館	
	入場者	小学4年生 46人	
	概要	<p>以前のアウトリーチでも児童たちから好評だったデュオによるプログラム。テクニカルな編曲版の「小犬のワルツ」やシュニトケの不気味な「きよしこの夜」で戸惑う児童たちに、親しみやすい語り口で様々な作曲家や作品があることを紹介。聞きごたえある演奏でヴァイオリンとピアノの魅力を伝えた。</p> <p>【出演】南紫音(ヴァイオリン)、山中惇史(ピアノ) 【共催】NPO法人子どもに音楽を 【後援】目黒区教育委員会 【協賛】(公財)北野生涯教育振興会</p>	

3 ⑭	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年1月14日(金)	
	会場	目黒区立上目黒小学校 音楽室 ※2回に分けて実施	
	入場者	小学5、6年生 85人	
	概要	<p>ロシアの作曲家をテーマにした内容で、ロシアに留学していた沼沢淑音が実体験や作品に関するエピソードも紹介 コロナ禍で鑑賞機会が無くなった子どもたちに、迫力あるヴァイオリンとピアノの演奏を間近で聴く機会を提供した。</p> <p>【出演】松田理奈(ヴァイオリン)、沼沢淑音(ピアノ) 【共催】NPO法人子どもに音楽を 【後援】目黒区教育委員会 【協賛】(公財)北野生涯教育振興会</p>	
3 ⑮	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年1月20日(木)	
	会場	目黒区立緑ヶ丘小学校 体育館	
	入場者	小学5年生 48人	
	概要	<p>児童たちのラテン・ジャズへの関心を深めるために、沢山の打楽器を用いた演奏やレクチャーが行われた。 実際の音楽の授業で取り上げている楽曲をラテン・ジャズアレンジで聴かせ、緑ヶ丘小学校ならではのアウトリーチプログラムとなった。</p> <p>【出演】熱帯JAZZ楽団 カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ) 【後援】目黒区教育委員会 【協賛】(公財)北野生涯教育振興会</p>	
3 ⑯	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年2月1日(火)	
	会場	目黒区立向原小学校 体育館	
	入場者	小学5年生 45人	
	概要	<p>ソプラノ、バリトン、ピアノのコンサート 登場の仕方を曲ごとに変えたり小道具を使うといった簡単な演出を取り入れたりしながら、息の合った歌声を響かせた。</p> <p>【出演】藤井冴(ソプラノ)、小林大祐(バリトン)、大野真由子(ピアノ) 【後援】目黒区教育委員会 【協賛】(公財)北野生涯教育振興会 【協力】NPO法人日本声楽家協会</p>	

3 ⑰	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年2月4日(金)	
	会場	目黒区立田道小学校 体育館	
	入場者	小学5年生 60人	
概要	<p>和楽器によるコンサート 古曲や民謡などの曲目の説明に加え各楽器の紹介コーナーや演奏者自身の演奏活動の紹介なども交えて進められた。 質問コーナーではゲームやアニメの音楽に参加しているという出演者の話に興味を持った児童たちから、多くの手が上がった。 【出演】小山豊(津軽三味線小山流三代目)、辻本好美(尺八)、大多和正樹(和太鼓) 【後援】目黒区教育委員会 【協賛】(公財)北野生涯教育振興会</p>		
3 ⑱	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年2月4日(金)	
	会場	目黒区立八雲小学校 体育館	
	入場者	小学5年生 65人	
概要	<p>当ホールの若手演奏家シリーズに出演したことのあるヴァイオリニスト周防亮介がアウトリーチに初登場 これまで何度かアウトリーチ出演の経験がある寺嶋陸也と共演し、クライスラーの小曲から超絶技巧の作品までを披露した。 【出演】周防亮介(ヴァイオリン)、寺嶋陸也(ピアノ) 【共催】NPO法人子どもに音楽を 【後援】目黒区教育委員会 【協賛】(公財)北野生涯教育振興会</p>		
3 ⑲	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年2月9日(水)	
	会場	目黒区立第九中学校 体育館	
	入場者	中学2年生 52人	
概要	<p>読売日本交響楽団の楽団員による金管五重奏によるコンサート クラシックからディズニー、宮崎駿アニメの音楽まで、親しみやすいプログラムを迫力のサウンドで届けた。 【出演】読売日本交響楽団メンバー 辻本憲一(トランペット)、重井吉彦(トランペット)、久永重明(ホルン)、青木昂(トロンボーン)、次田心平(チューバ) 【後援】目黒区教育委員会 【協賛】(公財)北野生涯教育振興会</p>		

3 ⑳	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年2月10日(木)	
	会場	目黒区立第十中学校 音楽室	
	入場者	中学2年生 134人	
	概要	<p>毎年、目黒区立第十中学校の卒業生であるピアニストの白石光隆を中心に開催しており、今回は共演者にトロンボーン奏者の加藤直明氏を迎えて開催した。プログラムでは、迫力のある演奏のほかにも、スライドの楽器と特徴を生かした演奏方法など、トロンボーンの奏でる様々な音色を楽しめるプログラムとなった。</p> <p>【出演】白石光隆(ピアノ)、加藤直明(トロンボーン) 【後援】目黒区教育委員会 【協賛】(公財)北野生涯教育振興会</p>	
3 ㉑	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年2月10日(木)	
	会場	目黒区立下目黒小学校 体育館	
	入場者	小学5、6年生 130人	
	概要	<p>ラテン・ジャズの演奏とレクチャーが中心のプログラム 演奏終了後の質問コーナーでは、楽器だけでなく音楽の成り立ちについての質問が多く飛び交い、児童たちのラテン音楽への興味がより深まる時間となった。</p> <p>【出演】熱帯JAZZ楽団 カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ) 【後援】目黒区教育委員会 【協賛】(公財)北野生涯教育振興会</p>	
3 ㉒	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年2月16日(水)	
	会場	目黒区立中目黒小学校 体育館	
	入場者	小学6年生 86人	
	概要	<p>多くの打楽器を中心に演奏されるラテン音楽のプログラム 実際に演奏で使用された楽器を使って合奏をしている児童たちの目の前でプロの技巧が披露された。児童たちも終始演奏に釘付けで、最後は皆で身体を動かしながら音楽を楽しんだ。</p> <p>【出演】熱帯JAZZ楽団 カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ) 【後援】目黒区教育委員会 【協賛】(公財)北野生涯教育振興会</p>	

3 ⑳	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年2月22日(火)	
	会場	目黒区立月光原小学校 体育館	
	入場者	小学4年生 50人	
概要	<p>和楽器によるコンサート 児童たちにもわかりやすい説明を入れながら古曲、オリジナル、民謡、校歌など多岐にわたる曲目を演奏。曲間に和楽器に関する質問を挟みながら行われた。 【出演】 小山豊(津軽三味線小山流三代目)、小湊昭尚(尺八)、大多和正樹(和太鼓) 【後援】 目黒区教育委員会 【協賛】 (公財)北野生涯教育振興会</p>		
3 ㉑	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年2月24日(木)	
	会場	目黒区立碑小学校 体育館	
	入場者	6年生 130人	
概要	<p>ソプラノ、バリトン、ピアノによる公演 ドイツ語の歌の前に日本語訳の詩を朗読したり、オペラの世界を詳しく説明したりするなど、児童たちが歌の世界を想像しながら聴けるような工夫がなされたコンサートだった。 【出演】 湯浅桃子(ソプラノ)、原田勇雅(バリトン)、谷合千文(ピアノ) 【後援】 目黒区教育委員会 【協賛】 (公財)北野生涯教育振興会 【協力】 NPO 法人日本声楽家協会</p>		
3 ㉒	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年2月24日(木)	
	会場	目黒区立ひがしやま幼稚園 遊戯室	
	入場者	4、5歳児 41人	
概要	<p>概要オーボエ、クラリネット、ファゴットの木管三重奏で開催 演奏したモーツァルトの「きらきら星変奏曲」では、他の曲よりも演奏時間が長く、集中が途切れてしまうことも予想されたが、聞き馴染みのある「きらきら星」のメロディーが変化していく様子を感じてもらうことができた。 【出演】 ぱんだウインドオーケストラメンバー木管三重奏(トリオ・ダンシュ) 山本楓(オーボエ)、篠塚友里江(クラリネット)、原元由紀(ファゴット) 【後援】 目黒区教育委員会 【協賛】 (公財)北野生涯教育振興会</p>		

3 ⑳	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年3月4日（金）	
	会場	目黒区立げっこうはらこども園 遊戯室	
	入場者	3歳児～5歳児 80人	
	概要	<p>スティールパン、マリンバ、打楽器のコンサート 感染症対策として年齢ごと3回に分けて行ったため、1回のコンサートは短くなってしまったが、園児たちは演奏を聴きながら踊ったり手拍子をしていた。</p> <p>【出演】中丸達也（パーカッション）、宮本まいこ（スティールパン）、宮野下シリウ（マリンバ）</p> <p>【後援】目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】（公財）北野生涯教育振興会</p>	
3 ㉑	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年3月7日（月）	
	会場	目黒区立第十一中学校 体育館	
	入場者	中学3年生 70人	
	概要	<p>ぱんだウインドオーケストラのメンバーによる木管五重奏のプログラムを開催 5種類の楽器についての紹介しながら進行し、クラシックからポップスまで幅広いジャンルで木管五重奏のアンサンブルの魅力を発信していた。</p> <p>対象学年が卒業を間近に迎えた中学3年生という事で、旅立つ皆さんに向けてエールを送るプログラムとなった。</p> <p>【出演】ぱんだウインドオーケストラメンバーの木管五重奏 高橋なつ美（フルート）山本楓（オーボエ）、篠塚友里江（クラリネット）、原元由紀（ファゴット）、濱池宗（ホルン）</p> <p>【後援】目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】（公財）北野生涯教育振興会</p>	

令和3年度 めぐるパーシモンホールアウトリーチプログラム 実績一覧

NO	月日	施設名	参加者	出演者
1	9月2日(木)	みどりがおか こども園	5歳児 25人	中丸達也(パーカッション)、宮本まいこ(ステイ ールパン)、宮野下シリユウ(マリンバ)
2	9月30日(木)	駒場小学校	6年生 81人	熱帯JAZZ 楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、 澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ)
3	10月6日(水)	東根小学校	6年生 113人	原田照久(トランペット)、東野匡訓(トランペット)、 根本めぐみ(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、 山崎勇太(チューバ)
4	10月13日(水)	菅刈小学校	4、5年生 105人	原田照久(トランペット)、東野匡訓(トランペット)、 根本めぐみ(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、 山崎勇太(チューバ)
5	10月14日(木)	第八中学校	2年生 90人	荒牧小百合(ソプラノ)、土崎譲(テノール)、古川かり ん(ピアノ)
6	10月19日(火)	五本木小学校	4年生 65人	小山豊(津軽三味線小山流三代目)、小湊昭尚(尺 八)、大多和正樹(和太鼓)
7	10月21日(木)	油面小学校	4年生 77人	鶉木絵里(ソプラノ)、布施雅也(テノール)、松本康子 (ピアノ)
8	11月4日(木)	不動小学校	5年生 106人	原田照久(トランペット)、東野匡訓(トランペット)、 根本めぐみ(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、 山崎勇太(チューバ)
9	11月17日(水)	大鳥中学校	2年生 180人	高橋竹童(津軽三味線)
10	12月10日(金)	烏森小学校	5年生 65人	久保田巧(ヴァイオリン)、村田千佳(ピアノ)
11	12月13日(月)	原町小学校	5、6年生 90人	辻本玲(チェロ)、沼沢淑音(ピアノ)
12	12月16日(木)	第一中学校	3年生 46人	小山豊(津軽三味線小山流三代目)、小湊昭尚(尺 八)、大多和正樹(和太鼓)
13	12月23日(木)	宮前小学校	4年生 46人	南紫音(ヴァイオリン)、山中惇史(ピアノ)
14	1月14日(金)	上目黒小学校	5、6年生 85人	松田理奈(ヴァイオリン)、沼沢淑音(ピアノ)
15	1月20日(木)	緑ヶ丘小学校	5年生 48人	熱帯JAZZ 楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、 澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ)
16	2月1日(火)	向原小学校	5年生 45人	藤井冴(ソプラノ)、小林大祐(バリトン)、大野真由子 (ピアノ)

NO	月日	施設名	参加者	出演者
17	2月4日(金)	田道小学校	5年生 60人	小山豊(津軽三味線小山流三代目)、辻本好美(尺八)、大多和正樹(和太鼓)
18	2月4日(金)	八雲小学校	5年生 65人	周防亮介(ヴァイオリン)、寺嶋陸也(ピアノ)
19	2月9日(水)	第九中学校	2年生 52人	読売日本交響楽団メンバー 辻本憲一(トランペット)、重井吉彦(トランペット)、久永重明(ホルン)、青木昂(トロンボーン)、次田心平(チューバ)
20	2月10日(木)	第十中学校	2年生 134人	白石光隆(ピアノ)、加藤直明(トロンボーン)
21	2月10日(木)	下目黒小学校	5、6年生 130人	熱帯JAZZ楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ)
22	2月16日(水)	中目黒小学校	6年生 86人	熱帯JAZZ楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ)
23	2月22日(火)	月光原小学校	4年生 50人	小山豊(津軽三味線小山流三代目)、小湊昭尚(尺八)、大多和正樹(和太鼓)
24	2月24日(木)	碑小学校	6年生 130人	湯浅桃子(ソプラノ)、原田勇雅(バリトン)、谷合千文(ピアノ)
25	2月24日(木)	ひがしやま幼稚園	4、5歳児 41人	ぱんだウインドオーケストラメンバー木管三重奏(トリオ・ダンシュ) 山本楓(オーボエ)、篠塚友里江(クラリネット)、原元由紀(ファゴット)
26	3月4日(金)	げっこうはらこども園	3~5歳児 80人	中丸達也(パーカッション)、宮本まいこ(スティールパン)、宮野下シリュウ(マリンバ)
27	3月7日(月)	第十一中学校	3年生 70人	ぱんだウインドオーケストラメンバー 高橋なつ美(フルート)、山本楓(オーボエ)、篠塚友里恵(クラリネット)、原元由紀(ファゴット)、瀧池宗(ホルン)

(合計 27 施設 / 2,165 人)

(小学校 18 校、中学校 6 校、幼稚園 1 園、こども園 2 園)

4 芸術文化情報の収集と発信

主催事業の周知や地域の芸術文化活動を活発化させるため、情報紙の発行やSNS等、様々な媒体を活用しながら、利用者にとってより分かりやすい芸術文化関連情報の提供に努めた。

(1) 情報紙「アートレター」の発行

号数	発行日	発行部数	新聞折込(部数)
VOL.76 夏号	令和3年7月4日	80,000部	74,000部
VOL.77 秋号	令和3年10月3日	80,000部	74,000部
VOL.78 冬号	令和4年1月5日	80,000部	74,000部
VOL.79 春号	令和4年3月20日	80,000部	74,000部

アートレターの紙面は、8ページ構成のカラーで発行している。内容も公演情報だけではなく、出演者へのインタビュー記事を掲載する等、公演の特色を分かりやすく紹介している。

(2) 広報一覧 ★は今年度新たに実施した広報

広報媒体		目的・結果等
自社媒体	情報紙「アートレター」	【個人発送】848人 ※前年度より67人増 出演者へのインタビュー記事や、新型コロナウイルス感染症対策として工夫しながら実施した事業の報告など企画ページを充実させている。また、希望者には個人発送も実施し、周知に努めている。
	ホームページ	【全体アクセス数】767,361 ※前年度より254,094件増 令和4年度ホール開館20周年を迎えるにあたり、ホールの取組への興味や関心を喚起するため、開館以降継続して実施している主催シリーズ公演の一部を紹介するアーカイブコンテンツの追加を検討した。また、「開館20周年記念公演」とその出演者からのメッセージ掲載を中心とした、20周年特設サイトの開設も計画している。
	SNS	【Twitter】投稿:212件 フォロワー数705人 ※前年度より投稿63件増 フォロワー数223人増 【Facebook】投稿:166件 フォロワー数575人 ※前年度より投稿54件増 フォロワー数60人増 SNSを効果的に活用し、チケットの販売促進やホールPRに繋がった。公演の雰囲気が伝わるような写真や動画をアップし、引き続き、拡散したくなるような素材について工夫していく。
	YouTube(動画)	【チャンネル登録者数】219人 ※前年度より105人増 【動画投稿数】7本(事業参加者へ限定公開した動画25本) 【フレッシュ名曲コンサート 戸澤采紀 キャンペーン・コンサート】アーカイブ配信(2,457回視聴) 【東日本大震災復興支援コンサート】ダイジェスト版アーカイブ配信(615回視聴) 【めぐろで第九2020+1】合唱団の練習風景をお届け!(688回視聴)
	メールマガジン	【配信】11件 【登録者数】5,945人 ※前年度より680人増 各事業のチケット発売に合わせて配信するほか、チケット購入者への払い戻し案内等でも活用した。

他 社 媒 体	めぐろ区報 各区内施設	区報に情報を掲載し、且つ区内小中学校等にチラシの配架やポスターの掲示を行った。
	他施設等	他のホールや図書館、出版社、お店等にチラシ等を配布し、幅広い方々に周知した。
	都立大学駅前 ポスター掲出	通年で1ヶ所掲出した。各事業のポスターを掲出し、駅利用者に周知した。
	目黒区内の 各駅構内(6 駅)	目黒区内の各駅構内に情報紙「アートレーター」を配架した。
	駅構内 ポスター掲出	東急電鉄等の主要駅構内に B1版のポスターを掲出した。 掲出駅は、中目黒駅、祐天寺駅、池袋駅、溜池山王駅
	★東京メトロコンコース ビジョン広告掲出	音楽愛好家などの客層に向けて、15 秒の事業PR動画(フレッシュ名曲コンサート、東日本大震災復興支援コンサート)を制作し、東京メトロの池袋駅と上野駅改札付近のサイネージ広告を実施した。 掲出期間は、令和4年2月1日～2月28日まで
	★SNS 広告	SNS を活用した広報の一環として、めぐろで第九とフレッシュ名曲コンサートの事業で初めて SNS 広告を配信した。配信した投稿には「いいね」やリツイートなど多くの反響があった。 【Twitter 広告:めぐろで第九 2020+1】 表示回数:1,386,229 クリック数:11,766(0.85%) / 投稿への反応:13,534(0.98%) 【Facebook・Instagram 広告:フレッシュ名曲コンサート】 Facebook 表示回数:184,632 リンククリック数 1,666(0.90%) Instagram 表示回数:25,484 リンククリック数 276(1.08%)
音楽雑誌広告	① 【ぶらあぼ】 7月号、12月号、2月号に複数事業をまとめて掲載し出稿サービスとして一部の事業を公演紹介記事として掲載した。 ② 【intoxicate vol.156】 令和4年2月20日発行号に複数事業をまとめて掲載した。また、フレッシュ名曲コンサートと東日本大震災復興支援コンサートにおいては、出演者にインタビューを行い、その内容を記事として掲載した。	
取 材 対 応 等	★東京 MX テレビ 「news TOKYO FLAG」	【東京 MX テレビ「news TOKYO FLAG」令和4年3月8日(火)20時オンエア・「FLAG 3.11 特番」令和4年3月11日(金)14時オンエア】 東日本大震災復興支援コンサートにおいて、東京 MX テレビの取材が入り、出演者である畠山美由紀と目黒区立中目黒小学校を中心にインタビューを行い、ニュース番組にて放映された。
	区からプレスリリース	事業終了後、区から各プレスに事業報告をリリースした。 また、「めぐろで第九 2020+1」、「第10回めぐろパーシモンホール避難訓練コンサート」、「東日本大震災復興支援コンサート」の様子は、目黒区動画ニュースでも取り上げられ、ケーブルテレビ「イツコム」などで放映された。

第2 受託事業（定款第4条第1項第2号）

1 芸術文化事業

(1)受託事業（3事業=12公演 ※ 7公演中止）

No.	内容	
★	公演名	第56回目黒区文化祭（春の部）
	公演日	令和3年4月3日（土）～5月25日（火）
	会場	大ホール・小ホール・美術館ギャラリー
		★中止
1 ① ― ⑦	公演名	第56回 目黒区文化祭（秋の部）
	公演日	令和3年10月9日（土）～ 11月28日（日）
	会場	大ホール・小ホール・美術館ギャラリー
	料金等	入場無料
	概要	目黒区内の芸術文化活動の向上と地域社会の活性化を図るとともに、活動団体の連携・協力を深めるため、目黒区文化祭を実施し、各芸術文化団体の活動を支援した。 なお、春の部は新型コロナウイルス感染拡大のため中止した。



【内訳】

No.	公演日	公演名	施設名	来場者 (延べ人数)
①	令和3年10月9日（土）	音楽祭	大ホール	312人
②	10月17日（日）	民謡大会	目黒区民センター ホール	43人
③	10月17日（日）	洋舞祭	大ホール	420人
④	10月31日（日）	日本舞踊大会	大ホール	300人
⑤	11月6日（土）	演劇祭	小ホール	230人
※	11月7日（日）	吟剣詩舞道大会	小ホール	※中止
⑥	11月13日（土）	合唱祭	大ホール	145人
⑦	11月24日（水）～11月28日（日）	ユネスコ美術展	目黒区美術館 区民ギャラリー	355人

No.	内容		
2 ①	公演名	めぐろオータムアート 2021 第9回音楽と美術のワークショップ 楽器を視る、聴く、描くⅡ 鉛筆から紡ぎだされる楽器のカタチ	 <p>photo: okagawa sumiko</p>
	公演日	令和3年10月9日(土)、10日(日)	
	会場	目黒区美術館 展示室A・ワークショップ室	
	料金等	参加費 一般3,000円/学生2,000円 (材料費・保険料・10月10日のコンサート鑑賞料込み)	
	入場者	参加者11人【定員12名】	
概要	<p>目黒区美術館との共同企画ワークショップ チェロとヴァイオリンの弦楽器をじっくり観察して音色を聴き、楽器の構造や歴史を学ぶ過程を経て、色鉛筆を使って楽器のカタチを描いていった。 最終日には楽器をモデルとして提供いただいた特別ゲスト・横坂源と周防亮介によるミュージアムコンサートを開催し、講師と参加者の作品が展示された空間で鑑賞した。</p> <p>【講師】寺崎百合子(画家)、秋岡陽(音楽史/フェリス女学院大学 名誉教授) 【特別ゲスト】横坂源(チェロ)、周防亮介(ヴァイオリン)</p>		
2 ②	公演名	めぐろオータムアート 2021 横坂源×周防亮介ミュージアムコンサート	 <p>photo: okagawa sumiko</p>
	公演日	令和3年10月10日(日)	
	会場	目黒区美術館 展示室A	
	料金等	全席自由 1,500円	
	入場者	59人/完売【定員50名】	
概要	<p>「音楽と美術のワークショップ」の特別ゲストでもある2人の演奏家によるコンサート コンサート会場の目黒区美術館展示室に、ワークショップ講師を務めた寺崎百合子の美術館所蔵作品と、参加者が描いた楽器の絵画作品を展示した中で開催した。</p> <p>【出演】 横坂源(チェロ)、周防亮介(ヴァイオリン) 【プログラム】 ヴァスクス：内なる城 シュニトケ：ア・パガニーニ J.S. バッハ/アウグスト・ヴィルヘルミ編曲：G線上のアリア アイルランド民謡：ロンドンデリーの歌 コダーイ：ヴァイオリンとチェロのための二重奏曲 作品7 〈アンコール〉シマノフスキ：水滴</p>		

3 ①	公演名	東日本大震災復興支援コンサート	
	公演日	令和4年2月27日(日)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 1,000円	
	入場者	466人【定員600名】	
概要	<p>震災から10年を経た今、震災の記憶を継承していくと共に、目黒区友好都市である宮城県角田市と気仙沼市の復興を願うことを目的に開催</p> <p>本事業は平成28年より継続して開催している復興支援事業であるが、新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの開催となった。</p> <p>宮城県気仙沼市と目黒区の音楽家たちが集うコンサートでは、第1部に気仙沼市民吹奏楽団と目黒吹奏楽団によるジョイントコンサートを開催し、気仙沼市民に親しまれるソウルソング「海潮音」を吹奏楽アレンジで初披露した。第2部では、宮城県気仙沼市出身のシンガーソングライター畠山美由紀と熊谷育美のソロステージを披露し、アンコールには目黒吹奏楽団の有志による合唱と共に「花は咲く」を歌唱した。</p> <p>プログラムは気仙沼市の「今」と街の魅力を伝えることも目的の一つとして構成しており、今回は気仙沼市の街や人の魅力を映像にし、公演時に投影した。</p> <p>また、復興支援の想いを気仙沼市民に届けることを目的に、公演の様子をダイジェスト版にして3月11日(金)よりホール公式YouTubeにて無料公開した。</p> <p>【出演】畠山美由紀、熊谷育美(気仙沼市出身・シンガーソングライター)、気仙沼市民吹奏楽団、目黒吹奏楽団、佐藤千品(司会)</p> <p>※ 出演予定であった目黒区立中目黒小学校合唱団は感染症対策のため、出演を見送ることとなった。</p> <p>【助成】一般財団法人 地域創造</p> <p>【後援】一般社団法人 めぐろ観光まちづくり協会</p>		
3 ②	公演名	東日本復興支援コンサート関連企画 宮城県気仙沼市物産展&震災復興写真展	
	公演日	令和4年2月27日(日)	
	会場	小ホール	
	料金等	入場無料	
	入場者	600人(延べ人数)	
概要	<p>宮城県気仙沼市の特産品の販売と共に、気仙沼市の被災当時と復興の様子を記録した写真展を開催した。</p> <p>物産展においては、公演休憩時の混雑を想定して、大ホールホワイエにて臨時の物産展を追加で開催。臨時物産展で販売した商品は休憩時間内に全て完売するほどの人気だった。</p> <p>【助成】一般財団法人 地域創造 【後援】一般社団法人 めぐろ観光まちづくり協会</p>		

3 ③	公演名	東日本復興支援コンサート関連企画 気仙沼漁師カレンダー展	
	公演日	令和4年1月15日(土)～ 3月15日(火)	
	会場	めぐろ区民キャンパスプラザ地下1階	
	料金等	観覧無料	
	概要	<p>気仙沼の女将たちが街の宝を発信したいという思いから誕生した「気仙沼漁師カレンダー」</p> <p>今回は、2022年版の撮影を担当した写真家・市橋織江の写真を展示し、漁師の生き様や気仙沼の風景を感じとれる空間となった。また、ホールチケットセンターでは、カレンダーの販売も行った。</p> <p>【助成】一般財団法人 地域創造 【後援】一般社団法人 めぐろ観光まちづくり協会</p>	

【関連自主事業】 (1事業=2公演)

1 ①	公演名	東日本復興支援コンサート関連企画 気仙沼と目黒のふれあいコンサート	
	公演日	令和4年3月12日(土)	
	会場	気仙沼市鹿折ふれあいセンター 体育館	
	料金等	全席自由 入場無料(事前申込)	
	入場者	80人【定員100名】	
	概要	<p>気仙沼市と目黒区の音楽を通じた交流を目的に、「ふれあいコンサート」と題したアウトリーチプログラムを実施。目黒吹奏楽団メンバーのサクソ三重奏による演奏では、クラシックからポップスまで年代問わず楽しめる曲目を披露した。</p> <p>【出演】目黒吹奏楽団メンバーによるサクソ三重奏 花形潤(ソプラノ&アルト)、大谷仁人(アルト)、千葉一恵(テナー)</p> <p>【共催】気仙沼市鹿折公民館 【助成】一般財団法人 地域創造</p>	
1 ②	公演名	気仙沼市東日本大震災10年復興記念事業 気仙沼市民吹奏楽団 第33回定期演奏会 気仙沼市民吹奏楽団・目黒吹奏楽団「～絆・希望・未来～ありがとうコンサート」	
	公演日	令和4年3月13日(日)	
	会場	気仙沼市民会館 大ホール	
	料金等	全席自由 入場無料(事前申込)	
	入場者	400人【定員526名】	
	概要	<p>気仙沼市民吹奏楽団が主催する気仙沼市東日本大震災10年復興記念事業「～絆・希望・未来～ありがとうコンサート」に目黒吹奏楽団が出演し、気仙沼市で念願のジョイントコンサートが開催された。</p> <p>本公演は気仙沼市と目黒区のつながりに感謝の気持ちを込めて開催されたもので、目黒区民吹奏楽団からは16名が出演し、平成31年の「東日本大震災復興支援コンサート」で初披露した「はまらいんや踊りの吹奏楽バージョンなどが演奏された。</p> <p>【主催】気仙沼市民吹奏楽団 【共催】(公財)目黒区芸術文化振興財団</p>	

(2) 指定管理事業 (1事業=2公演)

No.	内容		
1 ①	公演名	めぐろで第九 2020+1	
	公演日	令和3年6月20日(日)	
	会場	大ホール	
	料金等	S席 4,000円 A席 3,500円 学生 1,000円 配信視聴券 1,000円	
	入場者	545人 ※ 緊急事態宣言が発出され、チケット販売が定員の半数を超えていたため、チケット販売を6月17日で終了した。	
概要	<p>開館より3年毎に開催し、公募による区民合唱団が参加する「めぐろで第九」中止となった前年度の振替公演である今回は、東京2020大会の応援プログラムの一環として6月に開催した。</p> <p>合唱団は、新型コロナウイルス感染症対策として、公募による区民合唱団を22名(応募187名)とし、東京音楽大学の学生20名を加えた42名で結成し、オンラインを含めた22回の練習を重ねた。本番では、指揮・大井剛史率いる日本フィルハーモニー交響楽団と実力派ソリストが集結し、「歓喜の歌」をホールに響かせた。</p> <p>また、会場に来ることが難しい方に向けてオンラインの同時配信も行い、映像ならではの鑑賞体験を提供することが出来た(アーカイブ配信は公演終了後から令和3年7月4日(日)まで実施し、76枚販売、再生回数は350回)。</p> <p>さらに、株式会社パイオニアのご協力により、聴覚に障がいのある方にも鑑賞していただけるよう、音を振動に変えるボディソニック席を一部設置し、介助者含む16名を招待した。</p> <p>【出演】大井剛史(指揮)、日本フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)、嘉目真木子(ソプラノ)、中島郁子(メゾソプラノ)、宮里直樹(テノール)、加藤宏隆(バスバリトン)、公募によるめぐろで第九合唱団、東京音楽大学(合唱指導:阿部純、浅井隆仁)</p> <p>【曲目】ベートーヴェン:劇音楽「シュテファン王」序曲 Op. 117/交響曲第9番ニ短調「合唱付き」Op. 125</p> <p>【助成】芸術文化振興基金助成事業</p> <p>【協賛】(公財)北野生涯教育振興会</p> <p>【協力】株式会社パイオニア</p>		
1 ②	公演名	おうちで第九 ～歌詞と曲の魅力に触れよう～	
	公演日	令和3年6月6日(日)	
	会場	オンライン (Zoomを使用)	
	料金等	参加費 1,500円	
	入場者	23人	
概要	<p>令和3年度「めぐろで第九 2020+1」の関連企画として、合唱団とは別の切り口で区民が「めぐろで第九」に参加できる場を提供し、第九の魅力を知っていただく事を目的にオンライン (Zoom) 開催した。本事業では、第九の歌詞や曲に隠れたベートーヴェンのメッセージを探り、後半には第九を全員で歌った。</p> <p>【講師】阿部純、藤井麻理(ピアノ)</p>		

2 施設貸与・管理事業

(1) 施設の保守管理等

職員による日常点検や始業終業点検に加え、専門業者による定期的な保守点検を実施し、安全を確保しながら、利用者に使いやすい施設及び設備の提供を行った。また、保守管理業者からの報告は、随時、目黒区に報告し、情報の共有を図った。

平成14年9月20日に開館してから19年が経過し、機器類の劣化による部品交換等に関し、目黒区に適宜要望してきた結果、今年度は①大ホールのカーリフト下部の漏水防止工事、②ピアノ（スタインウェイ）のオーバーホールを行った。

その他の不具合については、予算の範囲内で修繕し、利用者の安全・安心の確保に努めた。

今後、利用者から改善要望の多い大ホール客席2階エレベーターの新設や、和式トイレから洋式トイレへの変更について、引き続き、区に要望していく。

① めぐろパーシモンホール

- | | |
|------------------|------------------|
| ア 舞台機構保守点検 | イ 舞台照明保守点検 |
| ウ 開閉天井照明保守点検 | エ 舞台音響保守点検 |
| オ 客席椅子保守点検 | カ エレベーター・リフト保守点検 |
| キ スタインウェイピアノ保守点検 | ク ヤマハピアノ保守点検 |

② 中目黒GTプラザホール

- | | | |
|----------|----------|--------------|
| ア 音響保守点検 | イ 照明保守点検 | ウ ヤマハピアノ保守点検 |
|----------|----------|--------------|

(2) 危機管理体制

① 新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応

ア 感染状況に応じ、施設利用ガイドラインを見直し、利用者に周知した。

イ 消毒液等を設置・補充するとともに、楽屋の椅子や机の配置の変更等を行い、コロナ禍における環境整備に努めた。また、新たに各楽屋及び諸室にCO2モニターを設置した。

ウ 利用申請期限や利用料還付期限を延長してきたが、区と協議し、支払期限を通常通りに戻した。

エ 施設利用抽選は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当該日に集合して抽選する方法を止め、事前申込制により職員が抽選を行っている。また、新たに中目黒GTプラザホールの抽選については、パーシモンホールの職員がZoomで抽選状況を確認した。

オ 大ホールのビュッフェ利用は休止しているが、定期的に清掃を行った。

② 防火・防災対策

ア 令和3年11月18日（木）第10回めぐろパーシモンホール避難訓練コンサートを実施した。大人数での大ホールを見送り、今回は初めて小ホールで開催した。

小ホールの公演は、対応するスタッフも少なく、施設が地下にあるため避難には必ず階段を使う必要がある等、大ホールとは異なる状況を職員一同、確認することができた。

また、地域避難所運営協議会のメンバーにもご参加いただき、コンサート終了後に災害時の避難について意見交換を行った。

イ 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、自衛消防訓練ができなかったため、改めて「通報・消火・避難訓練実施マニュアル」を全職員で情報共有を図った。

③ その他

舞台委託業者が高所作業に必要な墜落制止用器具の使用方法等について研修を実施した。

(3) 利用者サービス

① 貸館チケット販売の代行サービスを行っているが、今年度は14件の依頼があった（前年度は4件）。

② チケット販売の際に、新たなサービスとして電子マネーを取り扱えるよう対応した。

③ 来場者用のアンケートは、インターネットを活用した提出方法を導入した。

④ 利用者等の要望について情報の共有化に努め、迅速な対応を図るため、舞台及び受付窓口の連絡会を定例化し、毎月開催した。

- ⑤ 利用者アンケートを実施する等、利用者の意向を把握し、利用者の立場と目線による接遇を窓口サービスの基本に据え、利用者にはいつも親切・丁寧・明るい窓口対応を心掛けた。特に、施設利用料金やチケット料金の返金対応については丁寧な対応を行った。
- ⑥ 顧客満足度による評価

年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
総件数	260件	95件	153件
評価	4.20	4.36	3.95

※ 施設利用者に対して、「施設利用」の内容、スタッフの対応、施設及び設備の快適性等について、「良い(5点)」・「やや良い(4点)」・「普通(3点)」・「やや悪い(2点)」・「悪い(1点)」の5段階評価(5点満点)をしていただき、回答を集計している。

(4) 新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言等による施設利用制限

新型コロナウイルス感染症による国の緊急事態宣言等に伴い目黒区からの要請等により、めぐろパーシモンホール及び中目黒GTプラザホールの施設利用について、次のとおり対応した。

① 施設利用 (凡例 ○…利用可能、×…利用不可)

期間 [事由]	大ホール、小ホール 中目黒GTプラザホール		めぐろパーシモンホール 諸室	
	午前・午後	夜間	午前・午後	夜間
①4月1日 ～ 4月11日 [リバウンド防止 措置]	予約済：○ 新規予約：○	予約済：○ 新規予約：×	予約済：○ 新規予約：○	予約済：× 新規予約：×
	[利用制限] 新規の夜間予約不可 [定員制限] ①舞台と客席を分けた利用で、 大声での歓声や声援が無い利用は利用定員まで 舞台と客席を分けた利用で、 大声での歓声や声援が有る利用は定員の50%まで ②舞台と客席を分けない利用は 利用定員の半数まで		[利用制限] 夜間の利用不可 (予約済のホールとの併せ利用を除く) [定員制限] ・リハーサル室：24人以下 ・第1練習室：18人以下 ・第2練習室：14人以下 ・第3練習室：15人以下 ・会議室：8人以下 ・保育室：9人以下	
②4月12日 ～ 4月24日 [まん延防止等重 点措置]	予約済：○ 新規予約：○	予約済：○ 新規予約：×	予約済：○ 新規予約：○	予約済：× 新規予約：×
	[利用制限] 夜間の新規予約不可 [定員制限] ①舞台と客席を分けた利用で、 大声での歓声や声援が無い利用は利用定員まで 舞台と客席を分けた利用で、 大声での歓声や声援が有る利用は定員の50%まで ②舞台と客席を分けない利用は 利用定員の半数まで		[利用制限] 夜間の利用不可 (ホールとの併せ利用を除く) [定員制限] ・リハーサル室：24人以下 ・第1練習室：18人以下 ・第2練習室：14人以下 ・第3練習室：15人以下 ・会議室：8人以下 ・保育室：9人以下	

期間 [事由]	大ホール、小ホール 中目黒GTプラザホール		めぐろパーシモンホール 諸室	
	午前・午後	夜間	午前・午後	夜間
④4月25日 ～ 5月11日 [緊急事態宣言]	予約済：○ 新規予約：×	予約済：○ 新規予約：×	予約済：×	予約済：×
	[利用制限] ①新規予約 全日新規予約不可 ②予約済 ○4月25日・26日利用は利用 の自粛及び無観客開催を要 請 ○4月27日以降利用は無観客 イベントを除き利用不可		[利用制限] 予約済を含め全日利用不可 (併せ利用を除く) [定員制限] ・リハーサル室：24人以下 ・第1練習室：18人以下 ・第2練習室：14人以下 ・第3練習室：15人以下 ・会議室：8人以下 ・保育室：9人以下	
	[緊急事態宣言]		[緊急事態宣言]	
④5月12日 ～ 6月20日 [緊急事態宣言]	予約済：○ 新規予約：○	予約済：○ 新規予約：×	予約済：×	予約済：×
	[利用制限] ①利用時間は21時まで。なお、 チケット販売が開始されてい る催し物、若しくは無観客で開 催される催し物を除く。また、 催し物以外は20時まで ②新規予約 新規の夜間予約不可 [定員制限] ①利用定員の半数まで ②5月10日までに定員の半数以 上の来場者を予定する公演を 除く。		[利用制限] 予約済を含め全日利用不可 (併せ利用を除く) [定員制限] ・リハーサル室：24人以下 ・第1練習室：18人以下 ・第2練習室：14人以下 ・第3練習室：15人以下 ・会議室：8人以下 ・保育室：9人以下	
	[緊急事態宣言]		[緊急事態宣言]	
⑤6月21日 ～ 7月11日 [まん延防止等重点措置]	予約済：○ 新規予約：○	予約済：○ 新規予約：×	予約済：○ 新規予約：○	予約済：×
	[利用制限] ①利用時間は21時まで。なお、 無観客で開催される催し物を 除く。 ②新規予約 新規の夜間予約不可 [定員制限] ①舞台と客席を分けた利用で、 大声での歓声・声援等がない 公演は利用定員まで 舞台と客席を分けた利用で、 大声での歓声・声援等がある 公演は利用定員の半数まで ②舞台と客席を分けない利用は 利用定員の半数まで		[利用制限] 予約済を含め夜間利用不可 (併せ利用を除く) [定員制限] ・リハーサル室：24人以下 ・第1練習室：18人以下 ・第2練習室：14人以下 ・第3練習室：15人以下 ・会議室：8人以下 ・保育室：9人以下	
	[まん延防止等重点措置]		[まん延防止等重点措置]	

期間 [事由]	大ホール、小ホール 中目黒GTプラザホール		めぐろパーシモンホール 諸室	
	午前・午後	夜間	午前・午後	夜間
⑥7月12日 ～ 9月30日 [緊急事態宣言]	予約済：○ 新規予約：○	予約済：○ 新規予約：×	予約済：○ 新規予約：○	予約済：× 新規予約：×
	[利用制限] ①利用時間は21時まで。なお、チケット販売が開始されている催し物、若しくは無観客で開催される催し物を除く。また、催し物以外は20時まで ②新規予約 新規の夜間予約不可 [定員制限] 利用定員の半数まで。なお、7月11日までに定員の半数以上の来場者を予定する公演を除く。		[利用制限] 予約済を含め夜間利用不可 (併せ利用を除く) [定員制限] ・リハーサル室：24人以下 ・第1練習室：18人以下 ・第2練習室：14人以下 ・第3練習室：15人以下 ・会議室：8人以下 ・保育室：9人以下	
⑦10月1日 ～ 10月24日 [リバウンド防止 措置等]	予約済：○ 新規予約：○	予約済：○ 新規予約：×	予約済：○ 新規予約：○	予約済：× 新規予約：×
	[利用制限] ①利用時間は21時まで。なお、チケット販売が開始されている催し物、若しくは無観客で開催される催し物を除く。 ②新規予約 新規の夜間予約不可 [定員制限] ①舞台と客席を分けた利用で、大声での歓声・声援等がない公演は利用定員まで 舞台と客席を分けた利用で、大声での歓声・声援等がある公演は利用定員の半数まで 9月12日までに販売されたチケットで定員の半数以上の来場者を予定する公演を除く。 ②舞台と客席を分けない利用は利用定員の半数まで		[利用制限] 予約済を含め夜間利用不可 (併せ利用を除く) [定員制限] ・リハーサル室：24人以下 ・第1練習室：18人以下 ・第2練習室：14人以下 ・第3練習室：15人以下 ・会議室：8人以下 ・保育室：9人以下	
⑧10月25日 ～ 11月30日 [基本的対策徹底 期間]	予約済：○ 新規予約：○	予約済：○ 新規予約：○	予約済：○ 新規予約：○	予約済：○ 新規予約：○
	[利用制限] 10月25日から30日までの間でイベントを開催する場合は21時まで [定員制限] ①舞台と客席を分けた利用で、大声での歓声・声援等がない公演は利用定員まで		[利用制限・定員制限] ①ダンス利用、合唱・声楽等大声での発声や歌唱を伴う利用以外は利用定員まで ②ダンス利用、合唱・声楽等大声での発声や歌唱を伴う利用は人数制限あり	

期間 [事由]	大ホール、小ホール 中目黒G T プラザホール		めぐろパーシモンホール 諸室	
	②舞台と客席を分けた利用で、 大声での歓声・声援等がある 公演は利用定員の半数まで ③舞台と客席を分けない利用で は、右記の諸室利用と同様			
⑨12月1日 ～ 1月20日 [基本的対策徹底 期間]	午前・午後	夜間	午前・午後	夜間
	予約済：○ 新規予約：○	予約済：○ 新規予約：○	予約済：○ 新規予約：○	予約済：○ 新規予約：○
	[定員制限] ①舞台と客席を分けた利用で、 大声での歓声・声援等がない 公演は利用定員まで ②舞台と客席を分けた利用で、 大声での歓声・声援等がある公 演は利用定員の半数まで ③舞台と客席を分けない利用は、 右記の諸室利用と同様 ※「大声」とは、「観客等が通常 よりも大きな声量で、反復・継 続的に声を発すること」を大 声と定義し、これを積極的に 推奨する又は必要な対策を十 分に施さないイベントを「大 声あり」に該当する。 ※大声での歓声・声援等が想定 される公演では、座席を1席 空ける座席配置とする必要が ある。		[利用制限・定員制限] ①ダンス利用、合唱・声楽等大 声での発声や歌唱を伴う利用以 外は利用定員まで ②ダンス利用、合唱・声楽等大 声での発声や歌唱を伴う利用は 人数制限あり	
⑩1月21日 ～ 3月21日 [まん延防止等重 点措置]	午前・午後	夜間	午前・午後	夜間
	予約済：○ 新規予約：○	予約済：○ 新規予約：○	予約済：○ 新規予約：○	予約済：○ 新規予約：○
	[定員制限] ①舞台と客席を分けた利用で、 大声での歓声・声援等がない 公演は利用定員まで ②舞台と客席を分けた利用で、 大声での歓声・声援等がある公 演は利用定員の半数まで ③舞台と客席を分けない利用は、 右記の諸室利用と同様 ※「大声」とは、「観客等が通常 よりも大きな声量で、反復・継 続的に声を発すること」を大 声と定義し、これを積極的に推 奨する又は必要な対策を十分 に施さないイベントを「大声あ り」に該当する。 ※大声での歓声・声援等が想定 される公演では、座席を1席 空ける座席配置とする必要が ある。		[利用制限・定員制限] ①ダンス利用、合唱・声楽等大 声での発声や歌唱を伴う利用以 外は利用定員まで ②ダンス利用、合唱・声楽等大 声での発声や歌唱を伴う利用は 人数制限あり	

期間 [事由]	大ホール、小ホール 中目黒G Tプラザホール		めぐろパーシモンホール 諸室	
	午前・午後	夜間	午前・午後	夜間
①3月22日 ～ 3月31日	予約済：○ 新規予約：○	予約済：○ 新規予約：○	予約済：○ 新規予約：○	予約済：○ 新規予約：○
[リバウンド警戒 期間]	[定員制限] ①舞台と客席を分けた利用で、 大声での歓声・声援等がない 公演は利用定員まで ②舞台と客席を分けた利用で、 大声での歓声・声援等がある公 演は利用定員の半数まで ③舞台と客席を分けない利用は、 右記の諸室利用と同様 ※「大声」とは、「観客等が通常よ りも大きな声量で、反復・継続 的に声を発すること」を大声と 定義し、これを積極的に推奨す る又は必要な対策を十分に施 さないイベントを「大声あり」 に該当する。 ※大声での歓声・声援等が想定 される公演では、座席を1席 空ける座席配置とする必要が ある。		[利用制限・定員制限] ①ダンス利用、合唱・声楽等大声 での発声や歌唱を伴う利用以 外は利用定員まで ②ダンス利用、合唱・声楽等大声 での発声や歌唱を伴う利用は 人数制限あり	

② 利用申請及び利用料金支払期限の取扱い

施設の利用申請及び利用料金支払期限については、通常、予約日から14日以内となっているが、新型コロナウイルス感染症に伴い、利用日当日まで可能とする対応をした。

その後、新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、令和3年10月25日以降の予約申込分から通常通りの取扱いとした。

なお、令和3年10月24日までのホール（大ホール、小ホール、中目黒G Tプラザホール）の予約申込分の利用申請及び利用料金支払期限については、令和3年12月28日までとした。また、諸室の利用申請及び利用料金支払期限については、取扱いを継続し、利用日当日までとした。

③ 施設利用料金の還付

新型コロナウイルス感染拡大防止を理由とする利用の取消し時の施設利用料金は、全額還付の取扱いとした。

なお、通常の実扱いは、次のとおりである。

ア 大ホール

6か月前：全額還付、3か月前：50%相当還付

イ 小ホール及び中目黒G Tプラザホール

2か月前：全額還付、1か月前：75%相当還付、5日前：50%相当還付

ウ 諸室

20日前：全額還付、10日前：75%相当還付、5日前：50%相当還付

第3 その他事業(定款第4条第1項第4号及び第4条第2項)

1 めぐるパーシモン芸術文化ネットワークの取組

めぐろパーシモン芸術文化ネットワークは、当財団と共催して事業を行っている5団体(目黒区東山オーケストラ、目黒区民交響楽団、目黒吹奏楽団、童謡の里めぐろ保存会、目黒区クラシック音楽家協会)が、目黒区の芸術文化の振興を図ることを目的として、平成23年10月に発足した。

例年は、公演に際し、相互に協力しながら、めぐろパーシモンホールロビー(ホワイトエ)周りでの案内など支援を行い、集客力の強化にも寄与しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、4年度の開館20周年公演の実施に向けての意見交換を行った。

2 ホールの協賛等の運営

(1) 賛助会

ホールの賛助会については、令和2年度の24社、個人会員19人、計731,000円の収入に対し、3年度は26社、個人会員21人、計780,000円の収入となり、2年度より49,000円の増収となった。

(2) 協賛

企業も芸術文化の担い手であり、企業に参加の機会を提供することで、次のとおり、企業協力関係を構築することができた。

事業名	協賛企業	協賛内容
新春落語二人会 桂文珍・春風亭小朝 特別ゲスト 神田松鯉(人間国宝)	昭和製菓(株) 自由が丘 蜂の家	お菓子

子どものためのワークショップ事業及びアウトリーチプログラム事業、めぐろで第九2020+1事業では、(公財)北野生涯教育振興会に協賛金を頂き、継続的な資金調達に努めた。

(3) 助成金

事業名	助成団体	助成金額
フレッシュ名曲コンサート	(公財)東京都歴史文化財団	3,740,000円
めぐろで第九2020+1	独立行政法人日本芸術文化振興会	2,731,000円
東日本復興支援コンサート	(一財)地域創造	2,200,000円
感染症防止対策助成金	文化庁	335,000円

(4) 情報紙「アートレター」における広告料収入

令和3年度は2年度比105,000円増の合計847,000円だった。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた2年度だったが、3年度は増収となった。

3 地域と連携した事業

(1) 顧客サービス

地域の活性化やチケット販売促進を視野に入れながら、ホールと商店街が連携した顧客サービスを平成21年度当初、15店舗の協力で開始した。

この制度は「パーシモンチケ得マップ」に記載されているお店に財団主催又は共催事業のチケットを持参すれば、各店舗からサービスの特典が得られるものである。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、飲食店を中心に大変な状況だったが、前年度に引き続き、28店舗の協力を得られた。加盟店には店頭でオリジナルの加盟店シールを貼っていただくことで、事業の周知を図っている。なお、加盟店にはホールの広報に協力して頂いている。

(2) 広報ボランティア

新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、前年度に引き続き、令和3年度も広報ボランティアを募集せず、更新希望があった14名(2年度は17名)の参加があった。新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、一度だけ集まって、チラシやポスター、情報紙の発送作業を行った。

その他、主催事業に関する情報をメールで説明し、その内容をロコミで知り合いに広めて頂いた。また、広報して頂ける店舗にチラシの配布を行ったため、ホール職員の広報活動をサポートして頂いた。

(3) 商店街との連携

平成30年度、東京都産業労働局が主催する「第14回東京商店街グランプリ(商店街の優れた取組を表彰・紹介)」に、都立大学商店街連合会(とりつじん実行委員会)がグランプリを受賞、そして令和元年度も都立大学商店街連合会を構成する商店街が、第15回東京商店街グランプリで準グランプリを受賞したことにより、前年度に引き続き、今年度もパネル展を開催し、商店街のPRに貢献した。

4 職場訪問等の受け入れ

(1) 学校の受け入れ

例年、区立中学校等の職場体験に協力している。内容としては、公演の準備・撤去の手伝いや受付窓口の事務作業が中心であり、財団主催事業の開催日程に該当した中学校については、会場設営から本番、片付けの手伝いを体験してもらっているが、令和3年度は6件申込があったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止になった。

また、職場訪問は、区立中学生による舞台スタッフや職員へのインタビューを1件実施した。

(2) 視察・インターンの受け入れ

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、受け入れ希望がなかった。

5 収益事業

公益事業に資する収益事業として販売手数料及び自動販売機設置(13台)手数料での収入確保に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ホール利用の減少が続き、前年度に比べて若干回復したものの、令和元年度以前には及ばなかった。

補足資料

1 利用実績

施設名	年度	開館日数	全体利用率			時間帯別利用率			曜日別利用率	
			予約可能件数(件)	利用件数(件)	利用率(%)	午前(%)	午後(%)	夜間(%)	平日(%)	土・日祝日(%)
大ホール	3	358	779	618	79.3	81.2	78.4	78.5	74.7	86.4
	2	302	668	332	49.7	54.6	55.0	40.8	43.9	58.1
小ホール	3	358	835	646	77.4	70.9	78.2	83.5	71.7	86.7
	2	300	593	308	51.9	56.2	56.2	44.4	49.9	55.1
リハーサル室 など諸室	3	358	801	542	67.7	67.6	72.3	61.1	63.0	76.9
	2	286	760	416	54.7	56.6	63.3	40.9	53.9	56.1
中目黒 GT プラザホール	3	359	853	626	73.4	73.3	76.9	67.7	71.2	77.8
	2	291	806	379	47.0	53.4	56.7	31.0	44.2	52.3

2 利用ジャンル別集計

ジャンル	大ホール		小ホール		リハーサル室 など諸室		中目黒 GT プラザホール		全施設合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
コンベンション	39	6.3%	83	12.8%	129	3.9%	107	17.1%	358	6.9%
クラシック	158	25.6%	304	47.1%	1,045	31.8%	351	56.0%	1,858	35.9%
ポピュラー	70	11.3%	69	10.7%	184	5.6%	17	2.7%	340	6.6%
演劇	4	0.7%	41	6.4%	45	1.4%	1	0.2%	91	1.8%
ミュージカル	68	11.0%	0	0.0%	292	8.9%	0	0.0%	360	7.0%
舞踊	197	31.9%	71	11.0%	790	24.0%	6	1.0%	1,064	20.6%
伝統芸能	18	2.9%	26	4.0%	97	3.0%	9	1.4%	150	2.9%
映像	10	1.6%	2	0.3%	3	0.1%	0	0.0%	15	0.3%
その他	54	8.7%	50	7.7%	698	21.3%	135	21.6%	937	18.1%
合計	618	100%	646	100%	3,283	100%	626	100%	5,173	100%
前年度合計	332	100%	308	100%	2,495	100%	379	100%	3,514	100%

3 利用者別集計

利用者	大ホール		小ホール		リハーサル室 など諸室		中目黒G T プラザホール		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
一般利用区内	48	7.8%	111	17.2%	635	19.3%	104	16.6%	898	17.4%
一般利用区外	261	42.2%	242	37.4%	973	29.6%	253	40.4%	1,729	33.4%
芸文登録団体	22	3.6%	87	13.5%	515	15.7%	147	23.5%	771	14.9%
公的団体	29	4.7%	13	2.0%	29	0.9%	0	0.0%	71	1.4%
財団	223	36.0%	150	23.2%	1,002	30.5%	9	1.4%	1,384	26.8%
目黒区	35	5.7%	43	6.7%	129	4.0%	113	18.1%	320	6.2%
合計	618	100%	646	100%	3,283	100%	626	100%	5,173	100%
前年度合計	332	100%	308	100%	2,495	100%	379	100%	3,514	100%

4 利用者数

月	大ホール			小ホール			リハー サル室 等諸室	中目黒G T プラザホール			合計
	入場者	関係者	計	入場者	関係者	計	利用者	入場者	関係者	計	
4	5,733	1,788	7,521	1,248	701	1,949	647	645	661	1,306	11,423
5	8,052	1,220	9,272	714	861	1,575	32	163	316	479	11,358
6	4,671	1,474	6,145	1,294	800	2,094	350	1,356	539	1,895	10,484
7	10,637	3,286	13,923	1,533	716	2,249	528	2,487	843	3,330	20,030
8	10,015	2,766	12,781	1,192	561	1,753	620	278	725	1,003	16,157
9	2,272	952	3,224	1,475	759	2,234	954	457	682	1,139	7,551
10	6,423	3,052	9,475	1,798	1,300	3,098	822	873	1,175	2,048	15,443
11	6,716	1,596	8,312	2,034	881	2,915	1,327	982	1,292	2,274	14,828
12	6,120	2,266	8,386	2,608	1,203	3,811	1,027	698	1,896	2,594	15,818
1	6,927	1,238	8,165	1,511	832	2,343	1,018	324	739	1,063	12,589
2	4,873	1,340	6,213	1,601	496	2,097	1,000	339	891	1,230	10,540
3	7,220	3,051	10,271	2,616	1,284	3,900	945	848	1,178	2,026	17,142
合計	79,659	24,029	103,688	19,624	10,394	30,018	9,270	9,450	10,937	20,387	163,363
前年度 合計	24,872	11,253	36,125	7,141	3,457	10,598	10,296	8,989	3,511	12,500	69,519

5 利用料金収納実績

(単位：円)

施設名	年度	施設	特殊器具	合計
めぐろパーシモン ホール	3	141,338,490	21,778,430	163,116,920
	2	106,202,800	9,861,400	116,064,200
中目黒G Tプラザ ホール	3	11,357,300	762,400	12,119,700
	2	10,795,900	318,550	11,114,450
合計	3	152,695,790	22,540,830	175,236,620
	2	116,998,700	10,179,950	127,178,650

※ 利用料金は、各事業会計上、当該年度利用分と次年度利用分（いわゆる前受金）に分けて計上することとされているが、この表では、目黒区に倣い、利用料金を収納した日の属する年度に区分して計上している。このため、正味財産増減計算書の施設利用料収益とは一致しない。

6 利用料金還付実績

(単位：円)

区分	施設	特殊器具	合計	2年度合計 【前年度実績】
3年度納付分	11,806,740	0	11,806,740	【2年度】 27,719,935
2年度納付分	17,822,990	0	17,822,990	【元年度】 53,231,390
合計	29,629,730	0	29,629,730	80,951,325

7 施設見学会開催実績

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
開催回数	大ホール	2	1	2	2	0	2	2
	小ホール	2	2	2	2	2	2	2
参加人数		3	2	4	11	9	2	13

月		11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度 合計
開催回数	大ホール	2	2	2	2	2	21	(15)
	小ホール	2	2	2	0	2	22	(14)
参加人数		19	3	13	2	8	89	(42)

8 個別見学対応実績

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
見学回数	17	11	11	8	11	11	18

開催月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度 合計
見学回数	22	12	5	7	7	140	(124)

Ⅲ 令和3年度目黒区美術館事業報告

★印は新型コロナウイルス感染拡大に対する活動の自粛に伴う中止又は延期した事業

第1 自主事業(定款第4条第1項第1号)

1 展覧会事業(自主企画展)

(1)	展覧会名	マニュエル・ブルケール 20世紀パリの麗しき版画本の世界	 <p>展示風景(展示室 A)</p>  <p>展示風景(展示ロビー)</p>  <p>ワークショップ室での実施風景(オンライン・トーク・イベント Zoom のスクリーンショット)</p>
	会期	令和3年4月21日(水)～6月20日(日)(22日間) (4月25日(日)～5月31日(月)まで、緊急事態宣言を受けて臨時休館。会期を6月20日までに変更)	
	観覧料	一般 700(550)円、大高生・65歳以上 550(400)円、中学生以下無料、 ()内は20名以上の団体料金 ・障がいのある方とその付添者1名は無料 ・目黒区内在住、在勤、在学の方は受付で証明書類を提示すると団体料金(他との併用不可)	
	入館者数	2,158人	
	展示概要	<p>パリの耳鼻咽喉科の医師であり出版人でもあったマニュエル・ブルケールが、愛書家のために1930～1960年代にかけて限定出版した、美しい絵で彩られた当館所蔵の版画本49冊に収録された約500点の版画を展示した。</p> <p>作品は、画家ごとに特集された本の形態をとり、多くがその画家を礼賛する内容で、マルク・シャガールやモーリス・ユトリロなど、錚々たる画家たちが名を連ねる一方、現在では名前あまり知られていない画家も多く含まれている。</p> <p>版画といえばモノクロームの印象が強いかもしれないが、当時のフランスの版画の技術の高さを示す鮮やかな色彩に彩られた作品も多く、頁の上に展開される、多様な技法や表現を、会場でじっくり楽しむ来館者の姿が見られた。</p>	
関連催事	<p>オンライン・トーク・イベント 「アートブックの現在・過去、そして未来を考える」 講師：高浜利也(版画家・武蔵野美術大学教授)、 矢内みどり(美術史家)／司会：山田真規子(当館学芸員) 開催方法、定員：Zoomによる配信、申込制、先着30人 開催日：4月29日(木・祝)14:00～15:30 参加者：30人 内容：過去のアートブックであるブルケールの版画本と、現在の美術大学における版画によるアートブック制作の状況について、それぞれの専門の講師にお話し頂き、討論も交え、現代と過去の視点からアートブックを検証し、その未来についても論じた。</p> <p>最後に、オンライン上で視聴者からの質問や感想にも回答し、参加者とともにアートブックについて考える内容となった。 録画したトークを編集し、YouTubeで5月25日から公開した。</p>		
	★	大人のための美術カフェ	★中止
広報実績	「マニュエル・ブルケール 20世紀パリの麗しき版画本の世界」『音楽の友』2021年6月号		

(2)	展覧会名	包むー日本の伝統パッケージ	
	会 期	令和3年7月13日(火)～9月5日(日)(48日間)	
	観 覧 料	一般 800(600)円、大高生・65 歳以上 600(500)円、中学生以下無料、 ()内は20名以上の団体料金 ・障がいのある方とその付添者1名は無料 ・目黒区内在住、在勤、在学の方は受付で証明書類を提示すると団体 料金(他との併用不可)	
	入館者数	7,710 人	
	展示概要	<p>日本のデザインの黎明期に、わが国の伝統的なパッケージの収集と研究を続け、「包む」という言葉とともに大きな足跡を残した岡秀行のコレクション。世界巡回展の後、日本初となる 1988 年の当館で展示の後に収蔵された本コレクションは、2011 年の展覧会を経て、今回 3 度目の展示となった。今回は、特に岡の功績に着目した内容とした。</p> <p>展示構成は、岡のコンセプトを反映し、まずは「素材別」に分け、さらに日本人と素材との関わり方や自然観、美意識が表れているものをピックアップし、「伝統の美」と「生活の美」として取り上げた。加えて、デザイナーとしての岡秀行と彼が生涯をかけて探求した「日本の伝統パッケージ」を、日本のデザイン史から読み解く視点を新たに加えた。充実した内容の「岡秀行年譜」を会場内に展示し、さらにモニターで押切隆世の1979年制作の「伝統パッケージ」の映像作品を上映した。約35分の長尺であったが鑑賞する人が絶えず、会期の最終週は急きょ上映会場を増設した。</p> <p>幅広い年代層の来館があったが、特に20代、30代が目立った。本展図録として販売した書籍は完売し、大変好評であった。SDGsが叫ばれ、プラスチックゴミが社会問題化している現在、人々の関心の高さが伺えた。</p>	
	関連催事	<p>開催記念トークイベント 「デザイン史から学ぶ、岡秀行と日本の伝統パッケージ」 講師：佐賀一郎(多摩美術大学准教授 / デザイン史家) 吉田知哉(株式会社コンセント / 編集者) 開催方法、定員：対面、申込制、20人 開催日：7月25日(日)14:30～16:00 参加者：17人 内容：展覧会の「岡秀行コーナー」の企画と年譜制作の協力者、佐賀一郎氏と吉田知哉氏に、「岡秀行年譜」をたどりながら、日本のデザイン史におけるデザイナーとしての岡の業績と、生涯をかけて研究した「伝統パッケージ」についてお話し頂いた。</p> <p>佐賀氏は、岡と伝統パッケージを初めて日本のデザイン史上で読み解いた方。吉田氏は、日本のグラフィックデザイン史に造詣が深い方。対面式の講演会として企画したが、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言下での実施となったため、定員を絞り、申込期間が短い中、デザイナーとしての岡の業績や今日的な観点からの再評価の講座であったことから、非常に関心が高く68名もの応募があった。</p> <p>記録動画を後日 YouTube にて公開した。</p>	
		★ 大人のための美術カフェ	★中止
	広報実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブ版『美術手帖』 令和3年7月13日 ・ケーブルテレビ『地モト NEWS』 インフォメーション 令和3年7月13日 ・FM ラジオ J-wave『グッドネイバース 東京パスポート』 令和3年7月20日 	



展示風景(A 展示室)
※「素材別」の展示



展示風景(B 展示室)
※「伝統の活の美」の展示



展示風景(B 展示室)
※「生活の美」の展示



展示風景(B 展示室)
※「岡秀行コーナー」の展示

(3)	展覧会名	木村伊兵衛と画家たちの見たパリ 色とりどり		 <p>展示風景(1F エントランスホール)</p>
	会 期	令和4年2月19日(土)～3月27日(日)(32日間)		
	観 覧 料	一般 800(600)円、大高生・65 歳以上 600(500)円、中学生以下無料、 ()内は 20 名以上の団体料金 ・障がいのある方とその付添者1名は無料 ・目黒区内在住、在勤、在学の方は受付で証明書類を提示すると団体 料金(他との併用不可)		
	入館者数	10,644 人		
	展示概要	<p>報道写真やポートレートの名手として知られる木村伊兵衛が、1954年と55年に、国産のカラーフィルムで撮影したパリの街角のスナップ写真131点と、当館のコレクションより、1900年から50年代にかけてパリ留学を経験した画家たちによる、現地の風物を描いた作品52点をあわせて展示した。</p> <p>木村伊兵衛や画家たちがパリでどのように学び、いかに表現してきたのか、その試行錯誤が作品にも表れており、彼らが異国の地で苦闘したこともありのままに伝えることで、全体を通して親しみやすさを意識した展示構成とした。</p> <p>幅広い年代のお客様が来館され、コロナ禍で海外旅行が難しい状況のなか、異国の地を旅するように、写真と絵画、異なる技法で表されたパリの情景をご鑑賞頂けた。</p>		
関連催事	1	<p>ミュージアムコンサート ーパリの風薫る マヌーシュ・ジャズの午後ー 出演：河野文彦(ギター)、松下幹雄(ギター)、阿部恭平(ベース)、川又瑞代(ヴァイオリン) 開催方法、定員：対面、チケット制、31人 開催日：令和4年2月23日(水・祝) ①13:00～14:00 【追加開催】 ②15:00～16:00</p> <p>参加者：各回31人 内容：パーシモンホールとの共同イベント。日本のマヌーシュ・ジャズシーンを牽引する4名の演奏家が、往時のパリの街角で聞こえていたかもしれない音楽を、軽快なリズムとでノスタルジックな音色で演奏</p> <p>チケットが即日完売となったため、急きよ、追加公演を設定した。出演者より、展覧会の見どころなどについても紹介され、参加者は各々に木村伊兵衛の写したパリの情景を思い浮かべながら、美しい音楽に聴き入っていた。</p>		 <p>展示風景(展示室 B) ※コレクション展示</p>  <p>ミュージアムコンサート風景</p>

	<p>2 講演会「木村伊兵衛のパリを語る」 講師: 田沼武能(写真家 / 本展監修) 開催方法、定員: 対面、申込制、抽選で 30 人 開催日: 令和 4 年 2 月 27 日(日)14:00~15:30 参加者: 17 人(申込人数 127 人、当選 30 人) 内容: 木村伊兵衛に師事した写真家の田沼武能氏より、木村がいかにパリの街で人々を写したのか、本展出品作品の撮影の舞台裏について、助手の視点からお話し頂いた。 質疑応答では、参加者より、木村の人柄や、同氏に師事した理由などについて質問があり、一つ一つに詳しく、率直に回答されていた。当時を知る田沼氏ならではの貴重な講演内容に、参加者の満足度も高かった。</p>	 <p>講演会風景</p>
	<p>3 オンライン・セミナー 「オンラインでパリ観光—芸術家の足跡を巡る旅」 講師: 白井智子(姫路日ノ本短期大学客員教授・姫路日仏協会会長・神戸大学研究員) 開催方法、定員: オンライン(Zoomを使用)、申込制、先着 50 人 開催日: 令和 4 年 3 月 19 日(土)14:00~15:30 参加者: 45 人(申込人数 53 人) 内容: 木村伊兵衛が夢中で撮影したメニルモンタンやモンパルナス、本展で取り上げている作家の一人である藤田嗣治をはじめ、多くの芸術家が集ったカフェ、ル・ドームやラ・ロンド。日本の芸術家たちを魅了したパリの様々な名所をオンラインで観光した。 フランス文化の専門家である白井智子氏より、本展出品作品に表現されている往時のパリについて、豊富な写真資料と共にお話いただき、充実した内容であったと参加者からも高評価であった。</p>	 <p>オンラインセミナーのモニター画面</p>  <p>セミナー講師の白井智子氏</p>
	<p>4 大人のための美術カフェ 「展覧会の舞台裏と木村伊兵衛のパリについて」 開催日: 令和 4 年 3 月 26 日(土) ①14:00~14:30 ②14:45~15:15 【追加開催】 開催方法、定員: 当日先着 30 人 参加者: 各回 30 人 ナビゲーター: 誉田あゆみ(当館学芸員) 内容: 本展開催に至るまでの舞台裏、木村伊兵衛の生い立ちからヨーロッパ遊学に至るまでの経歴、本展出品作品などについて紹介した。 感染症対策のため、展示室を巡るギャラリートークではなく、スライドトーク形式をとったが、結果的に様々な資料を織り交ぜながら解説することができ、多角的な視点を提供することができた。</p>	 <p>大人のための美術カフェ風景</p>
<p>広報実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝日新聞全国版『美の履歴書』令和 4 年 3 月 1 日 ・ウェブ版『美術手帖』随時 ・ケーブルテレビ『地モト NEWS』インフォメーション 令和 4 年 2 月 17 日、18 日 ・NHK Eテレ『日曜美術館 アートシーン』令和 4 年 3 月 13 日 	

2 ワークショップ事業

(1) ワークショップ夏【つつむ】

「包むー日本の伝統パッケージ」展に関連して、オンラインによるセミナーとワークショップを開催
 セミナーは、〈包む〉コレクションを、より広い視点から捉える試みとし、素材・構造に着目して、建築史家、造形作家、かご制作者の三者三様の講座を企画。ワークショップは、前年度から始めたオンラインワークショップの第三弾として開催した。

(1)	講座名	オンライン・セミナー 「日本の『住まい(すまい)』を『包む』ー自然素材と建築」	 <p>ワークショップ室での実施風景 講師は京都からオンラインに接続</p>
	実施日時	令和3年8月7日(土)14:00~15:30	
	講師	石田潤一郎(京都工芸繊維大学名誉教授)	
	会場	オンライン(Zoomを使用) (配信場所は目黒区美術館ワークショップ室)	
	対象・定員	事前申込制、先着30人	
	参加者数	33人	
内容	<p>〈包む〉コレクションは主に食料品の包装・容器であるが、より広い観点から、「包む」と「建築」というテーマで、建築史家の石田潤一郎氏にお話し頂いた。</p> <p>私達が包まれている空間、日本の“住まい”を構成する要素の一つ、「屋根」について、使われる自然素材と特徴などについて写真図版を多用頂いたことで、日本の風土と、日本人の自然の素材に対する態度、工夫に改めて気づかされる講座となった。</p> <p>「建築」と結びつけるという新たな視点は、参加者の興味を引き出し、講座後に行ったアンケートも高評価であった。</p>	 <p>画面越しに対談する講師の石田潤一郎氏(左)とセミナー司会者の降旗千賀子氏(右)</p>	
(2)	講座名	オンライン・セミナー 「紙を『折る』『包む』ー空間に広がる光と影」	 <p>WEBカメラで手もとを写しながら、西村優子氏(左)に作品の構造を説明頂いているところ。手に持つ白い紙が局紙</p>
	実施日時	令和3年8月14日(土)14:00~15:30	
	講師	西村優子(造形作家)	
	会場	オンライン(Zoomを使用) (配信場所は目黒区美術館ワークショップ室)	
	対象・定員	事前申込制、先着30人	
	参加者数	32人	
内容	<p>〈包む〉コレクションの素材別「紙」のパッケージには、日本人の手技と繊細な感性が感じられる包装が多い。「紙」による制作をされている西村優子氏に、紙の魅力と、紙を折る・紙で包むということについて、ご自身の作品の紹介とともにお話し頂いた。</p> <p>西村氏が作品に用いる”局紙”と、その一枚の紙から立ち現れる造形美、さらに、日本の伝統的な「折形」と向き合うことで新たに生み出される形などを“実演”を交えてお話し頂いた。</p> <p>山折り・谷折りというシンプルな構造によって、紙の表情や動きが見られたのは、実演ならではの、参加者からは大変好評であった。</p>	 <p>〈包む〉コレクションの中から「おひねり」を取り上げ、語る西村氏</p>	

(3)	講座名	オンライン・セミナー 『包む』を構造から読み解くーバスケットリーの可能性	 <p>ワークショップ室での実施風景 パワーポイントで講演をしている様子</p>  <p>シュロの葉を用い、編む実演をしている様子</p>
	実施日時	令和3年8月21日(土)14:00~15:30	
	講師	関島寿子(バスケットリー作家)	
	会場	オンライン(Zoomを使用) (配信場所は目黒区美術館ワークショップ室)	
	対象・定員	事前申込制、先着30人	
	参加者数	44人	
内容	<p>木の皮や蔓、植物の葉など、自然の素材と構造の関係を観察し、絡める、結ぶ、組む、もじる、巻く、織るなどの方法で「かご」を作り出しているクリエイティブなバスケットリー作家の関島寿子氏に、〈包む〉コレクションの中から、〈藁つと〉〈寒餅つと〉などを選んでいただき、パッケージとかご作りに共通する素材利用の知恵を読み解いて頂いた。</p> <p>WEBカメラで手元を写し、実際に構造を説明しながら行った“実演”は、参加者からも分かりやすいと大変好評であった。</p>		
(4)	講座名	うちんち！ワークショップ Aコース:わたしのおやつのお包み方 Bコース:みんなのおやつのお包み方	 <p>ナビゲーターの最初のあいさつの様子。手前には講座で使うお菓子が並べられている。</p>  <p>Aコース参加者に、画面越しに作ったパッケージを披露してもらっている様子</p>  <p>Bコース参加者がパッケージ作りに取り組んでいる様子</p>
	実施日時	令和3年8月29日(日)10:00~11:30/13:00~14:30	
	ナビゲーター	&4+do メグロアソビ冒険隊 (降旗千賀子、中村良子・山本桃子・澤村幸子)	
	会場	オンライン(Zoomを使用) (配信場所は目黒区美術館ワークショップ室)	
	対象・定員	各コース8組まで(事前申込制)	
	参加者数	Aコース:10組(申込数26組) / Bコース:10組(申込数21組)	
	内容	<p>「包むー日本の伝統パッケージ」展の出展物からヒントを得て、おうちにある“おやつ”を包んで楽しむプログラムを実施。オンライン講座のため、家族でも大人ひとりでも参加できる気軽さから申込多数となり、抽選となった。</p> <p>参加者には事前に、美術作品の梱包にも用いる“薄葉紙”や、竹皮、紐などを送付。また、開催の2週間前には参加者限定でオンラインによる「包む」展の鑑賞プログラム(「うちんち！ぺちやくちやミュージアム」)を開催し、両コース合わせて10組の参加があった。</p> <p>講座本編でも展示の様子を写真で伝え、誰もが十分に創作を楽しめる内容となり、各グループで創意工夫に富んだオリジナル・パッケージのおやつが出来上がった。A・Bコースともに、進行・制作はほぼ同内容で行った。</p> <p>アンケートは同日中に Google フォームを利用しオンラインで行ったが、回答率が高く、6割が当館のワークショップに初参加であった。「分かりやすく楽しかった」という感想が多く、高評価であった。</p>	

(2)ワークショップ春

「木村伊兵衛と画家たちの見たパリ 色とりどり」展に関連して、ワークショップを開催

(1)	講座名	カラフル・ショートトリップ 色とかたちに出会う街	 展示室で作品を鑑賞する様子
	実施日時	令和4年3月6日(日)10:30~16:30 令和4年3月13日(日)10:30~16:30	
	講師	メグロアソビ冒険隊 (中村良子・山本桃子・澤村幸子)	
	会場	ワークショップ室	
	対象・定員	小学生以上、申込制、抽選、各回10人	
	参加者数	14人	
	内容	<p>「木村伊兵衛と画家たちの見たパリ 色とりどり」に関連し、色と形に注目した創作ワークショップを実施 感染症対策として、定員を各回10人までに制限し、同内容で2回開催した。</p> <p>子どもから大人まで幅広い年齢層の参加があり、作品を鑑賞することや、創作する楽しさを、世代を超えて体感するプログラムとなった。</p> <p>はじめに木村伊兵衛作品を鑑賞し、印象に残った作品の色や形に注目して記憶し、カラーチップで再現する「残像ゲーム」を行った。もし1950年代のパリへ旅行することができたら、どんなお土産を持ち帰りたかを考え、クラフト紙や色とりどりのカッティングシート、紙の端切れなどを使用して自分だけのお土産を制作した。出来上がった作品は希望者のみ約1週間ワークショップ室に展示し、一般来館者にも鑑賞してもらった。</p>	

3 教育普及事業

(1) ギャラリーツアー

学校との連携事業として、小学校の学年単位での鑑賞教室を受け入れた。

No.	展覧会名等	学校名	開催日	学年	参加者
1	目黒区美術館コレクション展 日々のよろこび 2021	下目黒小学校	令和3年11月25日(木) 令和3年11月26日(金)	6年生	54人

※ 感染症対策から1クラスずつ2日に分けて実施

(2) トイコレクションプログラム

当館の教材トイコレクションをもとに、トイコレクションボランティアチーム(TVT)運営による、美しく造形的な積木での感性教育、造形遊びを養うためのプログラム

★	講座名	アウトリーチ	★中止
	当初実施予定時期	令和3年5月	
	当初実施予定時期	令和3年11月	

1	講座名	トイの日 つみきでピクニック	
	実施日時	令和4年3月21日(月・祝) ①10:30~11:30、②13:00~14:00、③14:30~15:30	
	進行	トイコレクションボランティアチーム(TVT)	

会場	ワークショップ室	
対象・定員	家族などいつも一緒に過ごすメンバー2名から4名までのグループ(未就学児は保護者同伴)、申込制、抽選、各回4組まで	
参加者数	40人	
内容	<p>トイコレクションボランティアチームによるトイコレクションを活用したプログラム。例年「トイの日」は自由参加としていたが、感染症対策としてグループ毎の申込制とし、3回に分けて開催した。</p> <p>テーマをピクニックに設定し、グループ毎にテントで過ごす状況をイメージし、トイを楽しんだ。部屋の中央にトイを用意し、参加者はそれを自由に選び、グループのテーブルの範囲で遊ぶ時間とした。</p>	

(3) 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー

建築家村野藤吾が昭和41(1966)年に設計した旧千代田生命本社である目黒区総合庁舎のデザイン的な見どころを解説して歩く毎年人気のプログラム

★	講座名	目黒区総合庁舎建築ガイドツアー	★中止
	当初実施予定時期	令和3年秋頃	

(4) デザインキャンプ

近年人気のプログラムとして定着してきた、11回目となるハーマンミラージャパン株式会社との共同企画

★	講座名	デザインキャンプ #11	★中止
	当初実施予定時期	令和3年夏以降	

(5) 美術講座

インドに留学し、仏教遺跡の实地調査を多数行ってきた秋山館長が、自ら撮影した数々の貴重な画像とともに、仏教関連遺跡や美術について、解りやすく語る館長トーク等、幅広く美術に関する連続講座等を開催

① ②	講座名	目黒区美術館館長トークVI 玄奘三蔵とインド旅行		
	講師	秋山光文(当館館長)		
	内容	<p>館長による美術講座の第6弾。感染症対策として、展示室を使用し広い空間の中でソーシャル・ディスタンスを確保したうえで開催した。</p> <p>二部構成とし、前半では、『大唐西域記』の記録から、玄奘三蔵がインド滞在中に訪れたブッダに縁の場所を巡った。後半では、仏像(いわゆる大仏)の伝播の過程について、幻となったパーミヤンの大仏から我が国の東大寺の盧舎那仏に至る道筋を辿りながら概観した。</p>		実施風景(展示室A)
	開催日とテーマ	① 令和3年10月24日(日) 14:00~15:00 「玄奘三蔵は仏跡で何を見たか？」		
		② 令和3年10月24日(日) 15:15~16:15 「大仏の来た道」		
	対象・定員	高校生以上 40人		
参加者数	38人			

4 その他美術に関する事業

(1) 博物館実習の受け入れ

学芸員資格取得単位修得のため、当館において実習を希望したい旨の依頼が多くあることから、平成8年度を初年度としてこれを受け入れている。

実習期間、実習内容については、担当学芸員と面接により決定する。令和3年度は8人の学生を受け入れた。

【3年度受入実施校】

お茶の水女子大学、実践女子大学、昭和女子大学、女子美術大学、大正大学、多摩美術大学、東京農業大学、武蔵野美術大学 各1人

(2) 広告事業等(件数等広報一覧詳細については後掲「補足資料4」参照)

① 広報事業

- (1) 当館ウェブサイトを随時更新
- (2) Facebook、twitter、Instagram、メルマガ会員情報配信
- (3) YouTube 公式ページ開設、動画配信
- (4) めぐる区報、目黒区ホームページ
- (5) プレスリリース、ポスター・チラシの発送
- (6) 新聞掲載
- (7) JR 目黒駅広告看板掲出・通年(ポスター)
- (8) 近隣商店会(7 商店会)へのチラシ配布協力依頼
- (9) ミューぼん(スマートフォンアプリ)利用
- (10) 駅貼り広告・展覧会毎(ポスター)

② 共通入館券「ぐるっとパス」事業

令和3年度も2年度同様、都内の美術館・博物館等の普及活動や新たな需要の開拓等を目的とした「東京の美術館・博物館共通入館券実行委員会・ぐるっとパス」に参加した。

ぐるっとパスは1冊 2,500 円で購入可能であり、パス所持者は当館へ無料で入館することができる。

実行委員会は、参加館の負担金、事業収入等により共通入館券の発行、ポスター・パンフレットの作成その他広報を行い、共通入館券の販売及び入館料の収入、並びに負担金額は年度末に精算される。

【実施実績】

年度	参加館	共通入館券売上冊数	共通入館券による入館者数
3年度	99館	99冊 (16,956冊)	3,114人 (140,184人)
2年度	99館	88冊 (13,463冊)	1,938人 (113,549人)

※ 上段は目黒区美術館、()内は全体数〔参加館、「ぐるっとパス」事務局取扱、委託販売の合計〕

③ 報告書作成

- ・目黒区美術館年報 平成 30(2018)・31/令和元(2019)・2(2020)年度版 令和 4 年 3 月 15 日発行
- ・展覧会やワークショップについての報告を、ミュージアムシートとして発行した。

No.31 「現在と過去の交差から見えてくるもの〈マニユエル・ブルケールー20 世紀パリの麗しき
版画本の世界〉展を終えて」 令和 3 年 10 月 5 日発行

No.32 「目黒区美術館コレクション展 日々のよろこび 2021 コレクションの活用のかたち」
令和 4 年 3 月 18 日発行

No.33 「障がいのあるアーティストによる作品展 日々のよろこび 2021」
令和 4 年 3 月 18 日発行

No.34 「木村伊兵衛と画家たちの見たパリ 色とりどり」 令和 4 年 3 月 18 日発行

第2 受託事業(定款第4条第1項第2号)

1 指定管理事業展覧会

(1)	展覧会名	目黒区美術館コレクション展 日々のよろこび 2021	  <p>展示風景 撮影: 桜井ただひさ</p>  <p>「トイで遊ぶ休日の昼下がり」 実施風景</p>  <p>プレイコーナー内のパネル 参加者が組んだトイを、その場で撮影し 出力し、タイトルを記入して掲出</p>
	会 期	令和3年11月13日(土)～12月19日(日)(32日間)	
	観 覧 料	一般 700(550)円、大高生・65 歳以上 550(400)円、中学生以下無料、 ()内は 20 名以上の団体料金 ・障がいのある方とその付添者1名は無料 ・目黒区内在住、在勤、在学の方は受付で証明書類を提示すると団体 料金(他との併用不可)	
	入館者数	2,535 人	
	展示概要	<p>11月30日より同時開催となった「障がいのあるアーティストによる作品展」のタイトルである「日々のよろこび」をテーマとして、当館のコレクションよりほのかな心地よさや温もり、幸せなどを感じさせるような作品を取り上げ展示した。1 カラフル、2 心地よさ:柔らかな形、軽やかな線、3 光の中で、4 笑いとユーモア、そして遊び、5 カワイイ、6 僕らはみんな生きている、の6章構成とした。</p> <p>障がいのある方は2階で開催されている本展を無料で観覧できることに加え、1階で開催されている「障がいのある作品展」は誰でも無料で観覧できることから、作者の障がいの有無に関わらず、「日々のよろこび」の中で創り出された作品、観る人に「日々のよろこび」を感じさせる作品を、来館者に楽しんで頂く好機となった。</p>	
	関連催事	<p>「トイで遊ぶ休日の昼下がり」 開催期間:会期中の土日及び祝日の13:00～16:00 参加人数:226人 内容:展示の第4章「笑いとユーモア、そして遊び」の一角に、当館収集のトイを展示し、そのトイに実際に触れて遊べるプレイコーナーとして3席を設置。当館のトイコレクションボランティアチーム(TVT)がサポートした。新型コロナウイルス感染症の影響で、対面によるトイのプログラムが長期間開催できなかった状況下での、久々のTVTの活動でもあった。</p> <p>当館のトイは、大人でも十分に楽しめるクオリティーであるにも関わらず、これまでトイのプログラム参加者は子どもが中心であることが課題であった。今回は、展示を観に来る大人を対象として意識したが、大人も子どもも多く参加した。教育普及プログラムの展示室内での展開、少人数を対象としたプログラム運営など、今後の教育普及活動への新たな可能性を拓く内容となった。</p>	
		★ 大人のための美術カフェ	
広報実績	朝日新聞(夕刊)「円と線だけ 何を語る 《ターゲット》 田中敦子」 『美の履歴書 723』令和3年11月30日		

(2)	展覧会名	めぐろの子どもたち展
	会 期	令和4年1月18日(火)～2月2日(水)(14日間)
	観 覧 料	無料
	入館者数	10,291人
	展示概要	目黒区立の幼稚園・こども園、小・中学校の子どもたちの作品を、表現活動の成果として展示する展覧会 本展は教職員によって主導され、子どもたちの鑑賞教育の場として、また保護者や地域の方々が、教育現場における子どもたちの活動を理解する場として長きにわたりその役割を果たしている。 前年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となったが、今年度は再開された。米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画作品展を同時開催した。 作品数:4,278点

2 作品の保管・活用

(1) 寄贈・寄託作品 = 0 件

(2) 作品貸出

作品貸出 件数 点数 = 合計 30 件 63 点

① 1 件 1 点

宇佐美圭司「ゴースト・プラン・イン・プロセス:プロフィールより「プロセスIV」

展覧会名:宇佐美圭司 よみがえる画家展

貸出館 : 東京大学教養学部駒場博物館

会期 : 令和3年4月13日(火)～当初終了日6月27日(日)を8月29日(日)まで延長(4月13日～4月27日は学内での公開)

貸出期間:令和3年3月16日～9月2日

② 4 件 37 点

藤田嗣治「メキシコの少年」

藤田嗣治「グッバイ、ニューヨーク」

藤田嗣治「書簡(フランク・シャーマン宛)25通[便箋34枚]」

藤田嗣治「トランク(遺品)」

展覧会名:レオナルド・フジター絵の旅へ 絵の旅へ

貸出館 : ポーラ美術館

会期 : 令和3年4月17日～9月5日

貸出期間:令和3年4月7日～10月1日

③ 1 件 1 点

香月泰男「修理」

展覧会名:生誕110年 香月泰男展

貸出館:宮城県美術館、神奈川県立近代美術館葉山、新潟市美術館、練馬区立美術館、足利市立美術館

会期 : [宮城]令和3年7月3日～9月5日、[神奈川]9月18日～11月14日、[新潟]11月27日～令和4年1月23日、[練馬]2月6日～3月27日、[足利]4月5日～5月29日

貸出 : 令和3年6月22日～令和4年6月下旬【予定】

※ 令和3年度から4年度にまたがる巡回展

④18件 18点

川村清雄「水差し」
川村清雄「幼児石膏像」
川村清雄「村上彦四郎(村上義光 錦御旗奪還図)」
川村清雄「高砂」
川村清雄「鴨」
川村清雄「ベネチア風景」
川村清雄「布袋と唐子」
川村清雄「花」
川村清雄「梅に雀」
川村清雄「小督」
川村清雄「鈴と絵馬」
川村清雄「かわいい」
川村清雄「太田道灌」
川村清雄「朝顔につるべとられてもらい水」
川村清雄「鸚鵡」
川村清雄「静物(紫陽花とちごはやぶさ)」
川村清雄「貝合わせ」
川村清雄「桜」

展覧会名:川村清雄 その画業

貸出館:那珂川町馬頭広重美術館

会期:[前期]令和3年9月3日～10月3日、[後期]10月8日～11月7日

貸出:令和3年8月27日～11月16日

⑤2件 2点

高島野十郎「百合とヴァイオリン」

高島野十郎「牡丹花」

展覧会名:生誕130年記念 高島野十郎展

貸出館:高崎市美術館

会期:令和3年9月5日～11月7日

貸出期間:令和3年8月25日～11月12日

※ 令和2年度から3年度にまたがる巡回展で、令和2年度に久留米市美術館(会期:令和3年1月20日～4月4日)、奈良県立美術館(会期:4月17日～5月30日)に出展、奈良の会期終了後に一時返却を受け、令和3年度にあらためて高崎市美術館に貸出

【備考】

※ 巡回展の会期=[久留米]令和3年1月20日～4月4日、[奈良]令和3年4月17日～5月30日、
[高崎]令和3年9月5日～11月7日

※ 巡回展の貸出期間=[久留米・奈良]令和3年1月9日～6月7日、[高崎]令和3年8月26日～11月12日

⑥2件 2点

荻須高德「にわとり」

荻須高德「鯖」

展覧会名:生誕 120 年記念 荻須高德展—私のパリ、パリの私—

貸出館:美術館「えき」KYOTO、稲沢市荻須記念美術館、ひろしま美術館

会期:[KYOTO]令和3年9月10日～10月17日、[稲沢市]令和3年10月23日～12月19日、[ひろしま]令和4年1月3日～3月13日

貸出:令和3年8月26日～令和4年3月24日

⑦1件1点

木下晋「無—I」

展覧会名:上田薫とリアルな絵画

貸出館:茨城県近代美術館

会期:令和3年10月26日～12月12日

貸出:令和3年9月30日～12月15日

⑧1件1点

海老原喜之助「跡」

展覧会名:海老原美術研究所設立70周年記念 エビハラがいた時代

貸出館:熊本県立美術館

会期:令和4年2月25日～3月30日

貸出:令和4年2月15日～4月6日

(3)資料貸出

資料貸出 件数 点数 = 合計 1件1点

①1件1点

ビデオ映像(Tadashi Kawamata “People’s Garden” Kassel, 1992 Documenta IX (※所蔵作品 川俣正《プロジェクト「ピープルズ・ガーデン」》(か010-001)の付属映像)

展覧会名:グローバル化時代の現代美術—“セタビ”のコレクションで楽しむ世界旅行

貸出先:世田谷美術館

会期:令和3年7月3日～8月22日

貸出:令和3年7月3日～8月22日

※ 映像データで貸与

3 区民ギャラリーの貸出(利用状況については後掲「補足資料3」参照)

区民ギャラリーの貸出に関する業務を行った。利用率は、2年度に比べると年間で80.7%となり(2年度は50.4%)、コロナ禍でも、キャンセル数は13件に留まり、極端なキャンセル数には至らなかった。

(2年度のキャンセル数は36件)

空き状況については従来の当館ウェブサイトでの情報公開、メルマガ情報配信、チラシの配布に加え、SNS上に配信した。

その他業務(保守メンテナンス等)については、

- ① 毎年行っている展示壁のクリーニング及び保守点検を行った。
- ② ベアリング(壁の軸受)の交換を行った。(一部)
- ③ 展示台収納整備を行った。
- ④ 区民ギャラリー利用案内の更新を行った。
- ⑤ A面有孔ボードの活用方法について検討し、利用者への提案の幅を広げた。

【利用実績】

年度	利用実延面数	利用料金収納実績	利用率	入館者数
3年度	402面	4,067,000円 (3,675,000円)	80.7%	延べ23,716人
2年度	239面	2,486,750円 (2,927,750円)	50.4%	延べ6,967人

- ※ 利用料金収納実績は還付を含む。上段は収納日の年度の合計、()内は当該年度の決算数値である。
- ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年4月25日(日)から5月31日(火)まで臨時休館した。
- ※ 令和3年度のキャンセルが生じなかった場合の利用率は、97.3%である。

4 その他の受託事業

(1)めぐろオータムアート

目黒区との共催事業。めぐろパーシモンホールとの連携事業として、音楽と美術、音楽と建築の融合をテーマにワークショップ等を実施した。

①	講座名	第9回 音楽と美術のワークショップ 楽器を視る、聴く、描くII ー鉛筆から紡ぎだされる楽器のカタチ	<p>実施風景</p>  <p>コンサート出演者が使用している弦楽器(チェロ)の音色を聴いて、参加者がイメージを膨らませている様子</p>  <p>講師の寺崎百合子氏(左)からの助言を受け、作品の見せ方を検討している様子</p>
	講師	寺崎百合子(画家) 秋岡陽(音楽史/フェリス女学院大学 名誉教授)	
	開催日	令和3年 10月9日(土) 10:30~17:30 10月10日(日) 10:30~16:30	
	実施場所	目黒区美術館 展示室A(楽器の観察や講座など)、 展示室B(実作業)	
	対象・定員	12人 (事前申込制)	
	参加者数	11人	
	内容	<p>めぐろパーシモンホール主催のミュージアムコンサート(10月10日(日)17:00開演)と連動したワークショップ</p> <p>感染症対策のため、参加者を通常よりも減らし、展示室Bを会場とした。</p> <p>コンサート出演者を特別ゲストとして招き、彼らが使用する弦楽器(チェロ、ヴァイオリン)を観察して音を聴き、楽器の歴史や構造を学ぶ体験を経てから、色鉛筆(UNI12colore+白鉛筆)を使って楽器のカタチを描いた。</p> <p>展示室Aが空く時間帯には、出演者がコンサートのリハーサルを行ったため、参加者は彼らの奏でる音色を聴きながらの作業となった。</p> <p>講師からの丁寧な指導も相まって、単なる楽器の模写にとどまらない、ユニークな作品が目立った。作品は、コンサートの会場でもある展示室Aに展示し、参加者は終了後にコンサートも鑑賞した。</p>	

②	講座名	目黒建築めぐり塾 オンライン講座「駒場キャンパスの歴史資産」	実施風景
	講師	折茂克哉(東京大学教養学部駒場博物館助教)	
	開催日	令和3年10月31日(日) 10:30~12:15	冒頭挨拶。(左)司会の今宮一綺氏、(右)講師の折茂克哉氏
	実施場所	オンライン(Zoomを使用) (配信場所は目黒区美術館2階展示ロビー)	
	対象・定員	30人(事前申込制)	旧制第一高等学校時代の正門
	参加者数	22人	
	内容	例年、講師の折茂克哉氏が実際にキャンパスを案内していたが、コロナ禍により昨年は中止を余儀なくされた。本年は感染症対策として、オンライン講座での開催となった。旧制第一高等学校時代の豊富な写真資料等を参照しながら、現在のキャンパス内の建築物を鑑賞できた点はオンラインならではの良さが発揮された。東京大学の歴史遺産の魅力や意義を再認識し、親しむことのできる有意義なプログラムとなった。	

(2) 障がいのあるアーティストによる作品展

①	展覧会名	障がいのあるアーティストによる作品展 日々のよろこび 2021	
	会期	令和3年11月30日(火)~12月19日(日)(18日間)	
	観覧料	無料	
	入館者数	2,081人	展示風景 撮影:桜井ただひさ
展示概要	<p>目黒区内の障害者施設を通じて作品を募集し、171件 400点の作品を1階ワークショップ室とエントランス部分で展示。複数出品やグループなどで計上すると117名、11施設の参加となった。区民ギャラリーを会場とした令和元年度の第1回目に続き、2回目の展示となった。</p> <p>応募点数が多かったため、「くりかえす」、「きる、ちぎる、はる」などカテゴリーに分けた展示とした。仕切り板を三面に仕立て、壁面展示スペースを確保しつつ、車椅子使用など、障がいのある方にもゆったりと鑑賞できるような会場を心がけた。</p> <p>事前に施設を度々訪問し、調査をすることで、出品に繋がった作者も多く、前回よりスペースは縮小したにもかかわらず、出品数は増加となった。前回は会場内撮影不可であったが、応募用紙に撮影同意欄を設け、一部作品を除き、撮影可とした。結果、SNS等でも取り上げられ、関係者以外の周知が広まったようである。</p> <p>施設ごとでの訪問も多く、2階のコレクション展と同タイトルとし、関連づけたことで、前回の課題であった関係者以外の来場の増加や、出品者の方にコレクション展も鑑賞していただけるという相互性が生まれた。</p>		
関連催事	<p>1 ガラスに「日々のよろこび」を描こう</p> <p>開催期間:会期中 会場:本館1階ラウンジ 内容:会場に面したガラス窓に「キットパス」という画材で自由に絵を描いてもらった。</p> <p>子どもから大人まで多くの方が参加し、土日は特ににぎわっていた。施設での団体見学の際、出品者が参加している様子も見られた。</p>		
			「ガラスに『日々のよろこび』を描こう」の様子

	<p>2 目黒区内の障害者福祉施設の販売コーナー 開催期間:会期中 10:00～11:30 会場:本館 1 階ラウンジ 内容:本展に参加する各施設が出店し、商品を販売した。スタッフの不足で不参加の施設もあったが、自社製品がある施設など施設それぞれの個性ある製品が並んだ。熱心に就労支援をサポートする施設スタッフの様子が印象的だった。</p>	
<p>広報実績</p>	<p>ケーブルテレビ「地モト NEWS」インフォメーション 令和 3 年 12 月 8 日</p>	<p>「目黒区内の障害者福祉施設の販売コーナー」の様子</p>

第3 その他事業(定款第4条第1項第4号及び第4条第2項)

1 芸術文化活動団体等や学校教育への協力・支援

(1) 区展(区民作品展)への協力

会期:令和3年9月15日(水)～26日(日)(11日間)

(2) 区内美術4団体への協力

- ① 目黒区写真美術協会展 協会都合により実施予定無し
- ② 目黒区書作家協会展 (会期:令和3年5月19日(水)～5月23日(日)) **★中止**
- ③ 目黒区美術家協会展 (会期:令和3年6月23日(水)～6月27日(日))
- ④ 目黒区美芸作家協会展(会期:令和4年3月23日(水)～3月27日(日))

(3) 区内等中学校への協力

- ① 目黒区立第八中学校職場体験 令和4年1月26日(水)～28日(金) **★中止**
- ② 目黒区立第七中学校地域調べ学習 令和4年3月23日(水)

(4) 視察、研修等の受入れ

- ① 令和3年7月21日(水) 東京藝術大学 文化財保存学履修者4人
- ② 令和3年7月31日(土) 跡見女子学園大学 博物館教育論履修者8人
- ③ 令和3年8月3日(火) 東京造形大学 博物館実習1履修者17人
- ④ 令和4年1月14日(金) オケクラフトセンター森林工芸館 作り手養成塾2年生1人

2 危機管理体制

消防計画や事象別危機管理対応マニュアルをもとに、館をとりまく様々な災害等を想定し、職員一同日頃より情報共有に努め、日常的な点検をはじめ緊急時等に備えている。3年度の主な対応は以下のとおりである。

(1) 新型コロナウイルス感染症対策

日本博物館協会の「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」をもとに、「入場者の誘導」、「手洗いの徹底や手指の消毒設備の設置」、「マスクの着用の要請」等を行うほか、3つの密を避け、人と人との距離を適切にとるなど、感染症対策を行った。具体的には、清掃・消毒の徹底、受付や展示室の入口等に行列ができないように、間隔を空けた整列を促すほか、受付等のアクリル板の設置、検温などの対策を行った。

(2) 防火・防災対策

令和4年1月27日(木)に震災を想定した避難訓練を実施した。訓練は目黒消防署指導のもと、目黒区美術館消防計画に基づき職員・監視員・受付スタッフが参加して行った。併せて消防署員より消火栓設備の使用法の指導を受けた。

(3) 衛生管理

ラウンジ(喫茶コーナー)の運営にあたっては、職員の指導のもとボランティアスタッフによる手洗いの励行、定期的な清掃、材料の衛生管理など食中毒の予防に努めた。

(4) 監視員研修

展覧会開催時の監視員に対し、展覧会毎に避難誘導、急病者、不審者等への対応について事前説明を行うほか、事例別の特別研修会を行った。具体的には「お客様が転倒し作品にぶつかった拍子に作品が破損してしまった事故」と「不審な行動を繰り返すお客様への対応」を学芸係長と管理係長が講師となって指導するなど、不測の事態に備えた。

3 ボランティア活動

ボランティア会員 87 人(令和 4 年 3 月 31 日現在)が、5班(ラウンジ班、トイコレクション班、建築班、広報班、資料整理班)に分かれ、コロナ禍において可能な範囲で美術館運営に関するボランティア活動を行った。

ボランティア研修として、毎年開催しているバスツアーは、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。

毎年、年度末に開催しているボランティア総会については、令和4年3月26日(土)に、ソーシャル・ディスタンスを保ちながら開催した。

① ラウンジ班

緊急事態宣言下ではあったが、「包む」展(48 日間)では席を間引いて通常営業ができた。その後の「日々のよろこび 2021」(32 日間)、「めぐろの子どもたち展」(14 日間)、「木村伊兵衛」展(32 日間)においても通常営業が可能となり、年間を通して延べ 141 日(区展含む)のラウンジ運営に協力した。

② トイコレクション班

アウトリーチ活動は前年度に引き続き中止となったが、「トイの日」の活動が再開し、準備・実施に協力した。また、普段なかなか取り組めないトイの整理を積極的に行った。

③ 建築班

目黒区総合庁舎建築ガイドツアー及びめぐろオータムアート事業の一部中止に伴い、活動はなかった。

④ 広報班

「木村伊兵衛」展、令和 4 年度展覧会「東京の猫たち」展の発送作業に協力した。

⑤ 資料整理班

展覧会のデータ入力補助や資料整理のほか、作品リストや展覧会カレンダー、各種案内の英文翻訳を行った。

4 収益事業等(ミュージアムショップ、ラウンジ運営)

(1)ミュージアムショップ(通年)での取組

- ① 定期的に商品ラインナップの入れ替えを行い、リピーター利用者が飽きないように工夫をした。
- ② 各展覧会に関連した書籍やグッズ等を販売し、手数料収入を得た。
- ③ 展覧会図録については、1 年を通してウェブサイトから簡単に申し込み可能な通信販売を実施しており、遠隔地のお客さまに好評であった。(電話、FAX申し込みも可)

【マニエール・ブルケール 20 世紀パリの麗しき版画本の世界】展

- ・国の緊急事態宣言に伴う目黒区の要請により臨時休館(4/25-5/31)を余儀なくされたが、関連する過去図録「絵と言葉Ⅱ」が好評で、113 冊を売り上げ、完売となった。
- ・本展開催に伴いポストカードを 4 種作成し、492 枚売り上げた。

【包むー日本の伝統パッケージ】展

- ・図録が大変好評で、会期中の販売部数は 880 冊だった。
- ・パッケージに関する各種関連商品を販売し、計 279 点の売上があった。

【木村伊兵衛と画家たちの見たパリ 色とりどり】展

- ・図録 634 冊のほか、関連のポストカード(全 14 種)は合計 6,000 枚の販売実績があった。全体的に商品が良く売れた展覧会であり、当館オリジナルグッズであるクリアファイルやトートバッグも通常の展覧会開催時よりも販売点数が伸びた。

(2) ラウンジでの取組

- ① 「包むー日本の伝統パッケージ」展では、夏の開催時期に伴い「お餅アイス」(4 種)を販売したところ、117 個の販売実績があった。
- ② 「木村伊兵衛と画家たちの見たパリ 色とりどり」展では、パリのカフェで冬に人気のドリンク「ショコラ」を提供した。「マシュマロ入り」・「コアントロー(オレンジリキュール)入り」の 2 種用意したところ、特にコアントロー入りの「ショコラオランジュ」が大好評であった。2 種合計で 170 杯の販売実績となった。

令和3年度 展覧会事業実施状況

区分	マニユエル・ブルケール	包む	コレクション展 日々のよここび2021	障がいのある アーティストによる作品展 日々のよここび2021	めぐろの子どもたち展 R4.1.18～2.2	木村伊兵衛	計
会期	※ 4.21～6.20	7.13～9.5	11.13～12.19	11.30～12.19	R4.1.18～2.2	R4.2.19～3.27	
期	22	48	32	18	14	32	166
入館者数(人)	目標	6,200	2,700	800	10,000	4,500	26,346
	実績	7,710	2,535	2,081	10,291	10,644	35,419
有料	1,017	5,407	813	0	0	7,994	15,231
一般(下記以外)	755	4,575	492	0	0	5,339	11,161
高校・大学・高齢者	262	832	321	0	0	2,655	4,070
無料	1,141	2,303	1,722	2,081	10,291	2,650	20,188
招待券	320	833	543	0	0	1,250	2,946
ぐるっとバス	544	875	862	0	0	833	3,114
障がい者	85	140	142	※ 0	0	301	668
幼児・小・中学生	64	358	99	0	0	154	675
小学生ギャラーツアー	0	0	53	0	1,546	0	1,599
その他(ピリエ会員等)	128	97	23	2,081	8,745	112	11,186
入館者割合(%)							
有料	47.1	70.1	32.1	—	0.0	75.1	43.0
無料	52.9	29.9	67.9	—	100.0	24.9	57.0
1日当たり入館者数(人)	98	161	79	116	735	333	213
入館料収入(円)	686,720	3,951,700	495,210	—	0	5,707,710	10,841,340

※ マニユエル・ブルケール展の会期中4月25日から5月31日までは、緊急事態宣言を受けて臨時休館した。

※ マニユエル・ブルケール展の当初の目標入館者数は4,000人だが、会期変更のため目標入館者数を変更した。

※ 「その他」は内覧会参加者、ピリエ等の入館者数である。「障がいのあるアーティストによる作品展」及び「めぐろの子どもたち展」については一般入館者数である。

※ 「障がいのあるアーティストによる作品展」の障がい者の入館者数については、無料展のためカウントしていない。

※ 「ぐるっとバス」については、受付の日計表とあわせて「無料」の区分としているが、実際の取扱いについては、67ページのとおりである。

令和3年度 展覧会入館者数等の推移

区分		令和3年度	令和2年度	前年度比較	
展覧会事業	事業数	6	4	2	
	開館日数	166	134	32	
	入館者数 (人)	有料	15,231	4,232	10,999
		無料	20,188	6,338	13,850
		合計	35,419	10,570	24,849
観覧料(円)	10,841,340	2,907,600	7,933,740		
教育普及事業 (ワークショップ事業含む)	春夏ワークショップ	開催数(回)	5	2	3
		参加者数(人)	157	98	59
	ギャラリーツアー	開催数(回)	1	1	0
		参加者数(人)	54	44	10
	トイコレクション アウトリーチ	開催数(回)	0	0	0 ※①
		参加者数(人)	0	0	0
	トイの日	開催数(回)	3	0	3
		参加者数(人)	40	0	40
	庁舎建築ガイド ツアー	開催数(回)	0	0	0 ※②
		参加者数(人)	0	0	0
	デザインキャンプ	開催数(回)	0	2	△ 2 ※③
		参加者数(人)	0	69	△ 69
	館長美術講座	開催数(回)	2	5	△ 3 ※④
		参加者数(人)	38	68	△ 30
	大人のための 美術カフェ	開催数(回)	2	0	2
		参加者数(人)	60	0	60
合計	開催数(回)	13	10	3	
	参加者数(人)	349	279	70	

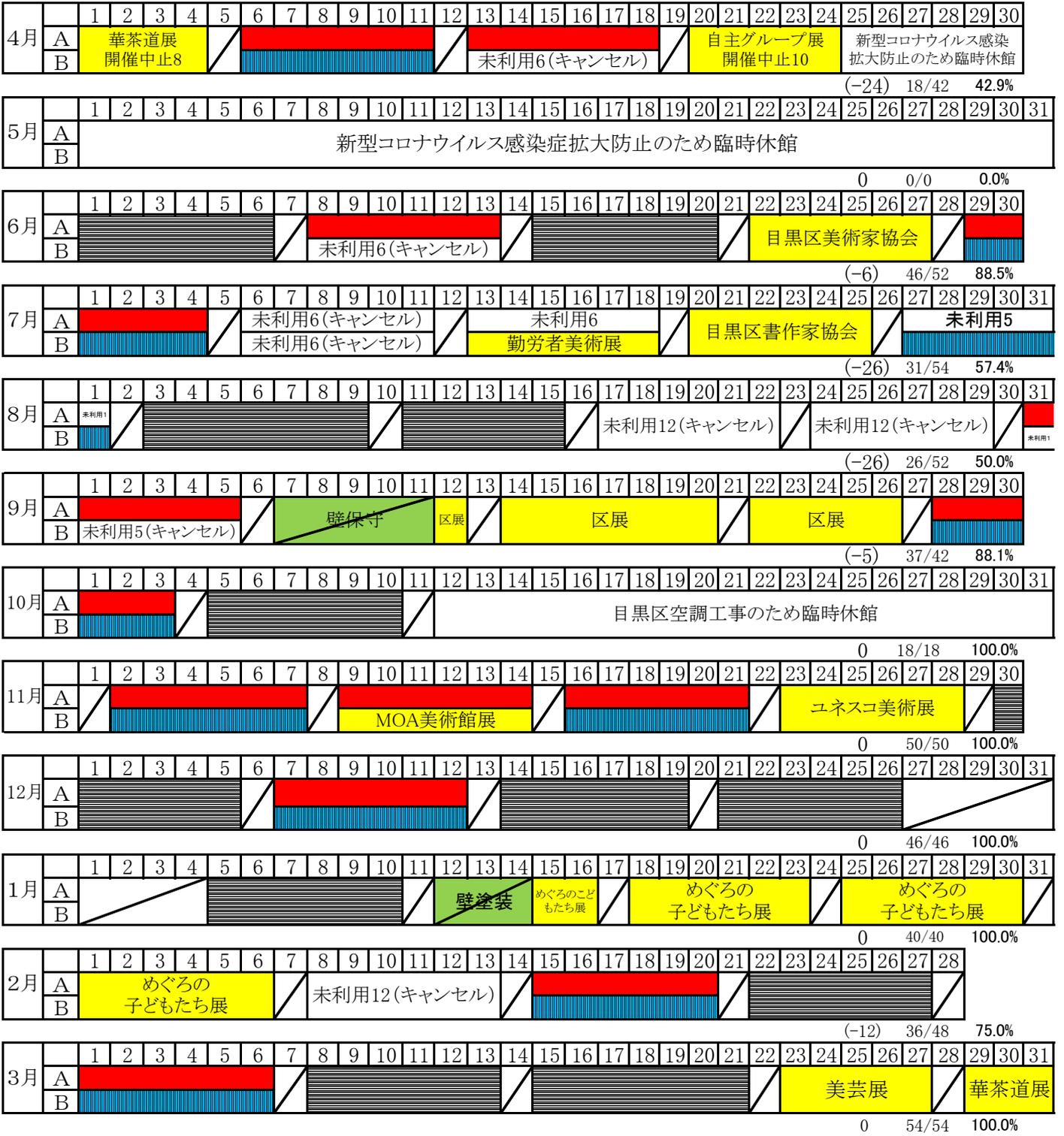
※① 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。

※② 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。

※③ 共催者の都合により中止した。

※④ 令和2年度は元年度に延期とした館長講座を2年度分にプラスして実施したことで回数が多かったが、3年度は通常回数(2回程度)の実施となった。

令和3年度 目黒区美術館 区民ギャラリー利用状況



全体 (-96) 402/498 80.7%

- 凡例
- A面のみ利用
 - B面のみ利用
 - 全面利用
 - 共催、後援事業
 - 保守、補修等
 - 休館日

令和3年度 広報一覧

広報内容	種別	広報手段	件数等		備考	
館総合・各展覧会・ワークショップ等	美術館発信	当館ウェブサイト	519,190件(R3)		全体アクセス数	
			308,580件(R2)			
		メールマガジン	24件	登録者数: 433人(前年度比+28人)	事業毎	
		twitter	83件	フォロワー数:17,766人(前年度比+3,202人)	事業毎	
		Facebook	67件	フォロワー数: 1,532人(前年度比+124人)	事業毎	
		Instagram	75件	フォロワー数: 1,048人(前年度比+566人)	事業毎	
		YouTube	11動画	チャンネル登録者数:124人(前年度比+58人)	令和2年度開始	
		プレスリリース送付	約300件		各展覧会毎	
		ポスター・チラシ送付	約700件		各展覧会毎	
	区協力	めぐろ区報				通年
		目黒区ウェブサイト				通年
		ぐるっとパス事業参加(有料:分担金)				通年
	有料広告	JR目黒駅広告看板掲出				通年
		新聞掲載 毎日新聞	4/21、6/5(東京) 4/21、6/4(神奈川)	29件	2件(都内・神奈川版 5段カラー)	マニュエル・ブルケール
7/13、8/9(東京) 7/13、8/11(神奈川)			2件(都内・神奈川版 5段カラー)		包む	
11/8、11/26(東京) 11/8、12/4(神奈川)			2件(都内・神奈川版 全5段カラー)		日々のよろこび2021	
11/20-12/15(都内版)			13件(都内 大型突き出し広告モノクロ)			
2/12、2/23(東京) 2/12、2/24(神奈川)			2件(都内・神奈川版 全5段カラー)		木村伊兵衛	
2/11-3/12(都内版)			8件(都内 大型突き出し広告 モノクロ)			
駅貼り広告			掲出期間:7/12-18、7/13-19 掲出期間:2/28-3/6、3/2-8		4件	2件(JR目黒駅、東急中目黒駅) 2件(JR恵比寿駅、東急中目黒駅)
Yahoo レスポンス広告		配信期間:4/20-23、6/7-13	クリック回数	4,732回	マニュエル・ブルケール	
Google ディスプレイ 広告		配信期間:7/12-8/12 配信期間:2/18-3/13	クリック回数	17,956回 17,726回	包む 木村伊兵衛	
区民ギャラリー 利用案内	美術館発信	当館ウェブサイト	519,190件(R3)		全体アクセス数	
			308,580件(R2)			
		メールマガジン	4件		空き室情報等	
		twitter	1件		抽選会のご案内	
		Facebook	1件		抽選会のご案内	
区庁舎等での 広報協力の	都内と近辺大学(芸術学部)へギャラリー案内送付					
	西口ロビーパネル展示		コロナの影響により日程調整がつかず中止			
	1階食堂近くの掲示板利用		1か所			
	文化・交流課窓口等					
	めぐろ観光まちづくり協会窓口					

IV 処務の概要

1 重要な契約の概要

契約名	契約年月日	相手方	契約趣旨
目黒区文化ホールの管理に関する基本協定書	平成31年4月1日	目黒区長	1 管理の業務の範囲 (1) 目黒区文化ホール条例第4条に規定する事業に関する業務 (2) 文化ホールの利用の承認、不承認、制限その他の利用に関する業務 (3) 管理施設と管理物品の日常の維持管理に関する業務 2 協定の期間 平成31年4月1日から平成36年(令和6年)3月31日まで
目黒区美術館の管理に関する基本協定書	平成31年4月1日	目黒区長	1 管理の業務の範囲 (1) 目黒区美術館条例第3条第2号から第6号に規定する事業に関する業務 (2) 美術館の観覧、特別観覧及び区民ギャラリーの利用の承認、不承認、制限その他の利用に関する業務 (3) 施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 2 協定の期間 平成31年4月1日から平成36年(令和6年)3月31日まで
目黒区文化ホールの管理運営に関する令和3年度協定書	令和3年4月1日	目黒区長	令和3年度における目黒区文化ホール管理業務の業務内容及びその実施の対価として支払われる管理経費等を定める協定書
目黒区美術館の管理運営に関する令和3年度協定書	令和3年4月1日	目黒区長	令和3年度における目黒区美術館管理業務の業務内容及びその実施の対価として支払われる管理経費等を定める協定書

2 財団運営会議の開催状況

回数	開催年月日	議題
第1回	令和3年5月13日	令和2年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団決算書の提出及び監査について
		理事会提出議案等の確認について
		評議員会提出議案等の確認について
		その他
第2回	令和3年5月25日	監査報告書の提出について
		理事会提出議案等の確認について
		評議員会提出議案等の確認について
		その他
第3回	令和3年9月30日	理事会提出議案等の確認について
		評議員会提出議案等の確認について
		その他
第4回	令和4年2月2日	理事会提出議案等の確認について
		評議員会提出議案等の確認について
		予算の内示について(区査定額)
		令和4年度第1回・第2回運営会議日程及び監査日程について
		その他

3 理事会及び評議員会の開催状況

(1) 理事会

回数	開催等年月日	議案番号等	件名
書面表決	令和3年4月1日	議案第1号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団常務理事の選定について
第1回	令和3年6月2日	議案第2号	令和2年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団決算書(案)
		議案第3号	令和3年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団定時評議員会の招集について
		協議事項	令和4年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業計画(素案)について
		報告事項	令和3年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告について 理事長、副理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について
書面表決	令和3年6月21日	議案第4号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団理事長の選定について
		議案第5号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団副理事長の選定について
		議案第6号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団常務理事の選定について
第2回	令和3年10月13日	議案第7号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団契約職員就業規則の一部を改正する規則
		議案第8号	令和3年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団第2回評議員会の招集について
		協議事項	令和4年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業計画(原案)について
		報告事項	令和3年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告について 令和2年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館指定管理者運営評価の結果について
第3回	令和4年2月10日	議案第9号	令和3年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団補正1号予算書(案)
		議案第10号	令和4年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画書(案)
		議案第11号	令和4年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団収支予算書(案)
		議案第12号	令和4年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団資金調達及び設備投資の見込み
		議案第13号	令和3年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団第3回評議員会の招集について
		議案第14号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団就業規則の一部を改正する規則
		議案第15号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団契約職員就業規則の一部を改正する規則
		議案第16号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団非常勤職員規程の一部を改正する規程
		議案第17号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団給与規程の一部を改正する規程
		議案第18号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団退職手当支給規程の一部を改正する規程
		報告事項	令和3年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告について 理事長、副理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について

(2) 評議員会

回数	開催年月日	議案番号等	件名
第1回	令和3年6月21日 (定時評議員会)	議案第1号	令和2年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団決算書(案)
		議案第2号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団理事の選任について
		議案第3号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団監事の選任について
		協議事項	令和4年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業計画(素案)について
第2回	令和3年10月26日	報告事項	令和3年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告について
		協議事項	令和4年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業計画(原案)について
		報告事項	令和2年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館指定管理者運営評価結果報告について
第3回	令和4年2月22日	議案第4号	令和3年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団補正1号予算書(案)
		議案第5号	令和4年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画書(案)
		議案第6号	令和4年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団収支予算書(案)
		議案第7号	令和4年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団資金調達及び設備投資の見込み
報告事項	令和3年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告について		

4 評議員、理事及び監事名簿

(1) 評議員

(順不同)

役職	氏名	備考
評議員	新井 篤美	日本経済新聞社社友
評議員	伊藤 昌明	目黒信用金庫理事相談役
評議員	柏谷 秀男	弁護士、税理士
評議員	塩田 純一	多摩美術大学客員教授
評議員	井上 裕佳子	音楽関係通訳・翻訳家
評議員	木田 左和子	昭和女子大学非常勤講師
評議員	箱守 栄一	美術品リスクコンサルタント
評議員	橋本 安男	目黒区民交響楽団副団長
評議員	野島 稔	東京音楽大学学長
評議員	宮廻 正明	東京藝術大学名誉教授
評議員	植田 健二	目黒吹奏楽団団長

(令和4年3月31日現在)

(2) 理事

(順不同)

役職	氏名	備考
理事長	清水 美知雄	ワッティ株式会社代表取締役
副理事長	山下 直純	山下寝具株式会社会長
常務理事	秋丸 俊彦	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事務局長、パーシモンホール館長
理事	遠藤 幸子	弁護士
理事	田中 晴久	平和祈念展示資料館学芸員
理事	秋山 光文	目黒区美術館館長
理事	中屋 早紀子	声楽家
理事	秋岡 陽	フェリス女学院大学名誉教授
理事	渡部 弘	行政経験者

(令和4年3月31日現在)

(3) 監事

(順不同)

役職	氏名	備考
監事	余語 直樹	公認会計士、税理士、社会保険労務士
監事	横田 俊文	行政経験者

(令和4年3月31日現在)